第３回東松山市子ども読書活動推進懇談会　次第

日時：令和８年１０月１９日（月）
午後３時３０分から
場所：市立図書館３階　研修室

１　開　会

２　あいさつ

３　議　事

・アンケート集計結果について

・第３次東松山市子ども読書活動推進計画素案について

４　報　告

５　その他

６　閉　会

東松山市 子どもの読書活動に関するアンケート　集計結果

ア　実施の時期

令和８年７月１日～令和８年７月１６日

イ　対象者

・市内公立小学校２年生
・市内公立小学校５年生
・市内公立中学校・私立中学校２年生
・市内公立高等学校・私立高等学校２年生
・市内幼稚園・保育園・認定こども園生保護者
・市内公立小学校２年生保護者
・市内公立小学校５年生保護者

ウ　実施方法

google formsによる回答

エ　回答数

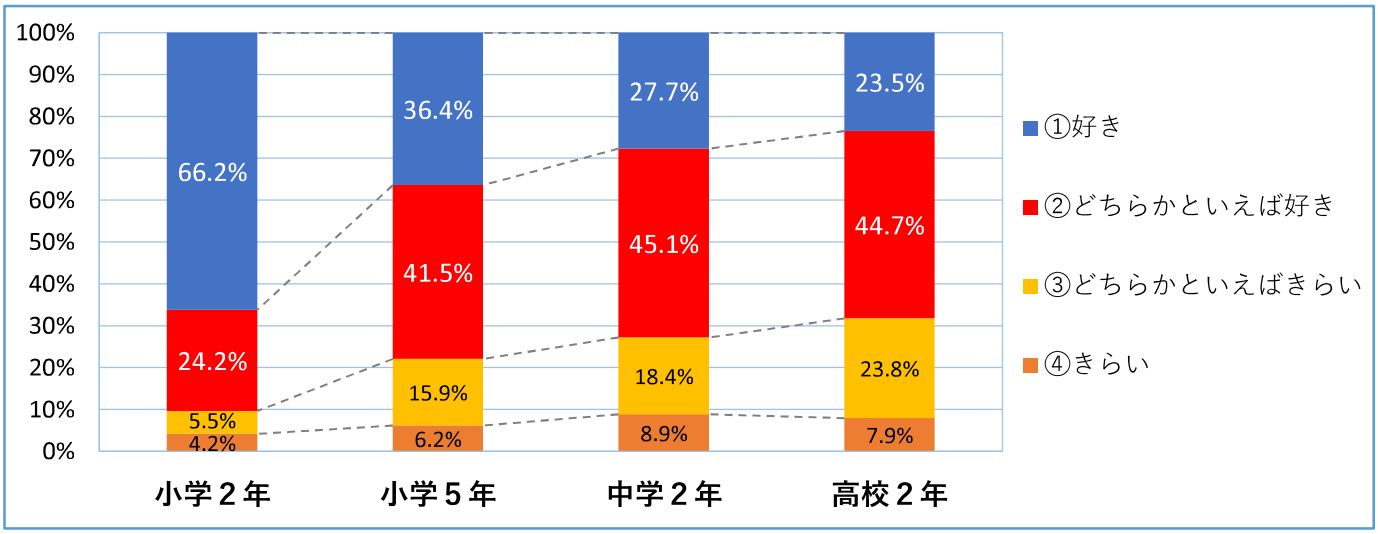
・小学校２年生　６２１人／６７２人（回答率９２．４％）
・小学校５年生　６６２人／７４２人（回答率８９．２％）
・中学校２年生　６３２人／７５９人（回答率８３．２％）
・高校２年生　　８５６人／１，０４０人（回答率８２．３％）
・市内幼稚園・保育園・認定こども園生保護者　９１３人
・小学校２年生保護者　３５６人
・小学校５年生保護者　３７３人

◇◇東松山市子どもの読書アンケート調査結果◇◇

アンケート実施期間：令和８年７月１日～令和８年７月１６日
アンケート回答者数：小学校２学年　６２１人、小学校５学年　６６２人
中学校２学年　６３２人、高校２学年　８５６人
※端数処理のため、合計が１００．０％にならない場合があります。

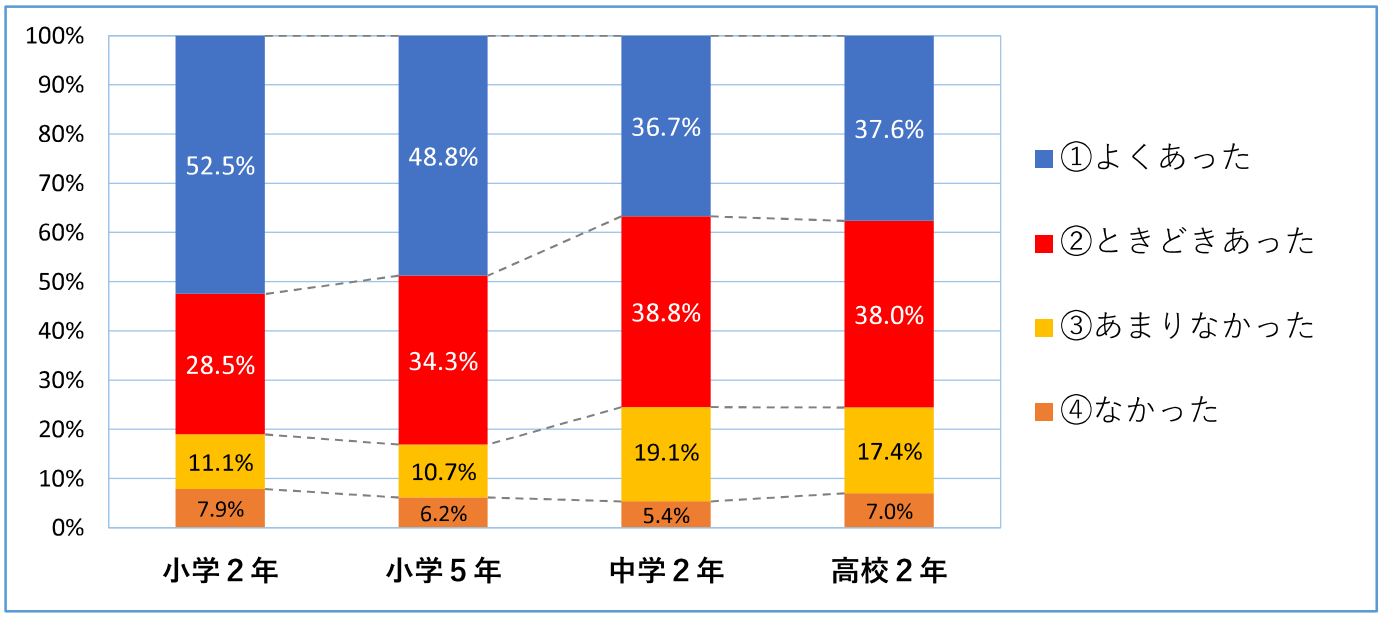
（質問1）あなたは、本を読むことが好きですか。[単数回答]

	小学２年	小学５年	中学２年	高校２年
①好き	66.2%	36.4%	27.7%	23.5%
②どちらかといえば好き	24.2%	41.5%	45.1%	44.7%
③どちらかといえばきらい	5.5%	15.9%	18.4%	23.8%
④きらい	4.2%	6.2%	8.9%	7.9%



（質問2）小さいとき、家の人に本を読んでもらうことはありましたか。[単数回答]

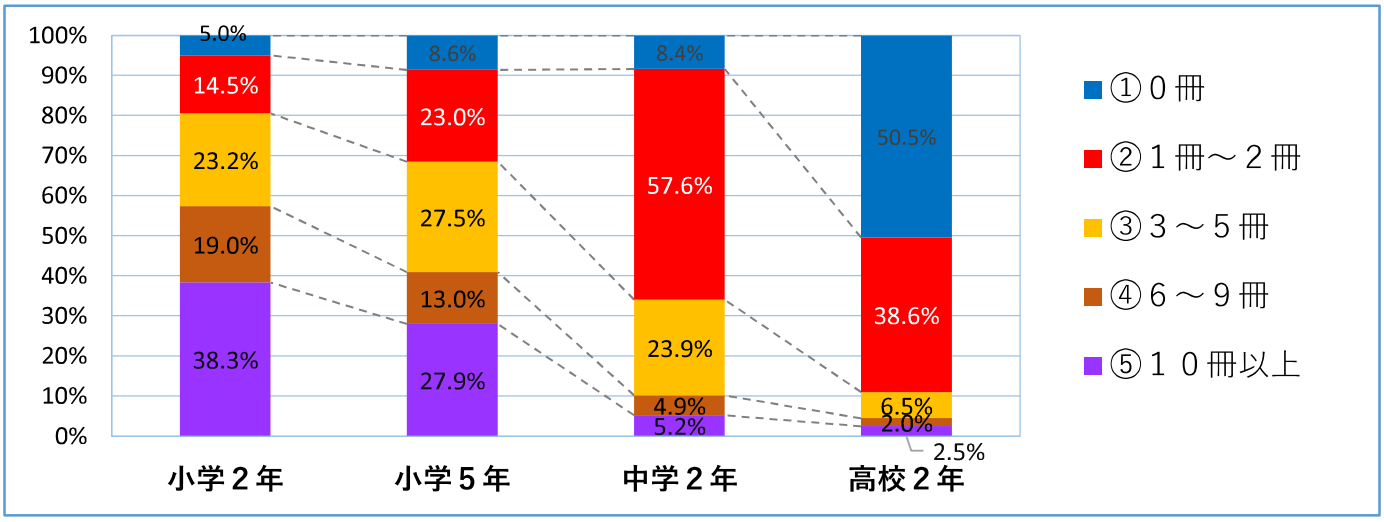
	小学２年	小学５年	中学２年	高校２年
①よくあった	52.5%	48.8%	36.7%	37.6%
②ときどきあった	28.5%	34.3%	38.8%	38.0%
③あまりなかった	11.1%	10.7%	19.1%	17.4%
④なかった	7.9%	6.2%	5.4%	7.0%



（質問3）６月に、何冊の本を読みましたか。[単数回答]

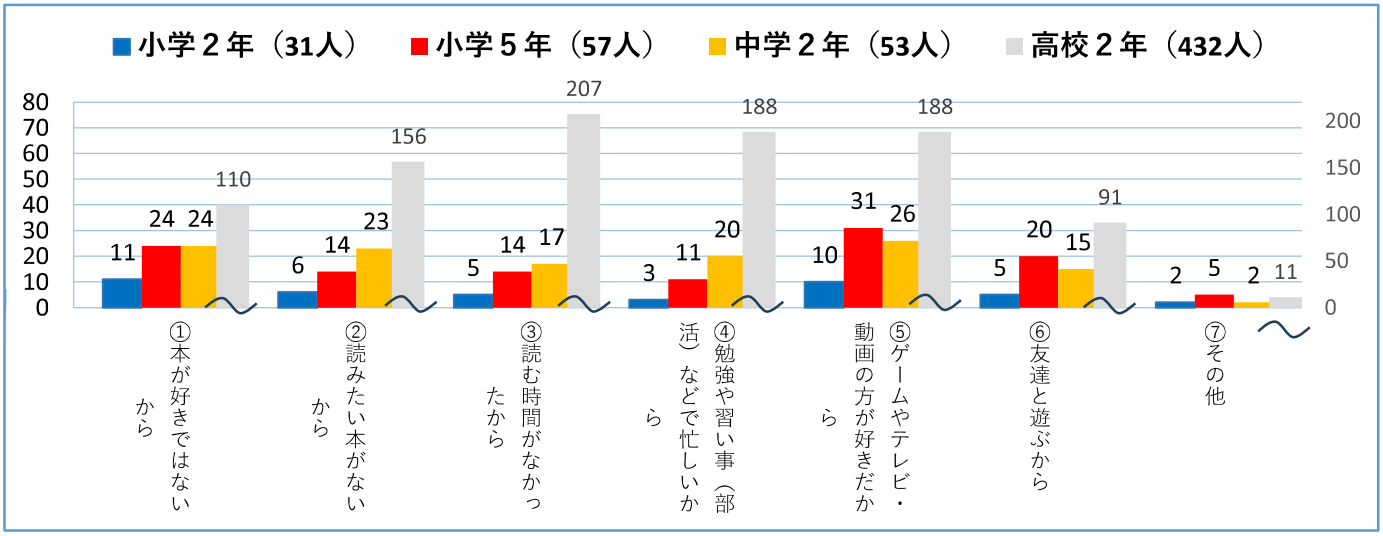
※読みかけの本、タブレットやスマートフォンなどで読める本も１冊に数えます。
学校で読んだ本も数えますが、教科書は数えません。また、マンガ・雑誌は数えません。
オーディオブックも数えます。

	小学２年	小学５年	中学２年	高校２年
①０冊	5.0%	8.6%	8.4%	50.5%
②１冊～２冊	14.5%	23.0%	57.6%	38.6%
③３～５冊	23.2%	27.5%	23.9%	6.5%
④６～９冊	19.0%	13.0%	4.9%	2.0%
⑤１０冊以上	38.3%	27.9%	5.2%	2.5%



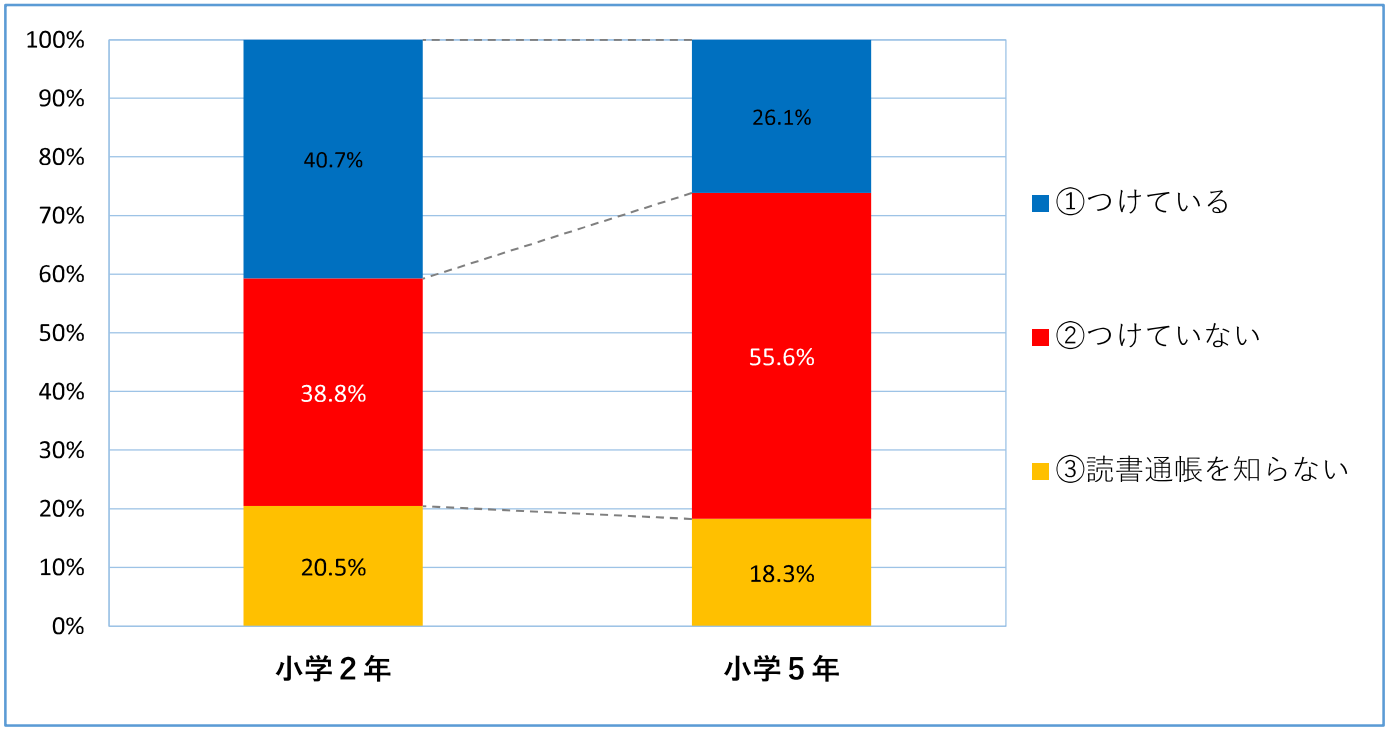
（質問4）質問3で、「０冊」を選んだ人は、答えてください。読まなかったのはなぜですか。
[複数回答]

	小学２年（31人）	小学５年（57人）	中学２年（53人）	高校２年（432人）
①本が好きではないから	11	24	24	110
②読みたい本がないから	6	14	23	156
③読む時間がなかったから	5	14	17	207
④勉強や習い事（部活）などで忙しいから	3	11	20	188
⑤ゲームやテレビ・動画の方が好きだから	10	31	26	188
⑥友達と遊ぶから	5	20	15	91
⑦その他	2	5	2	11



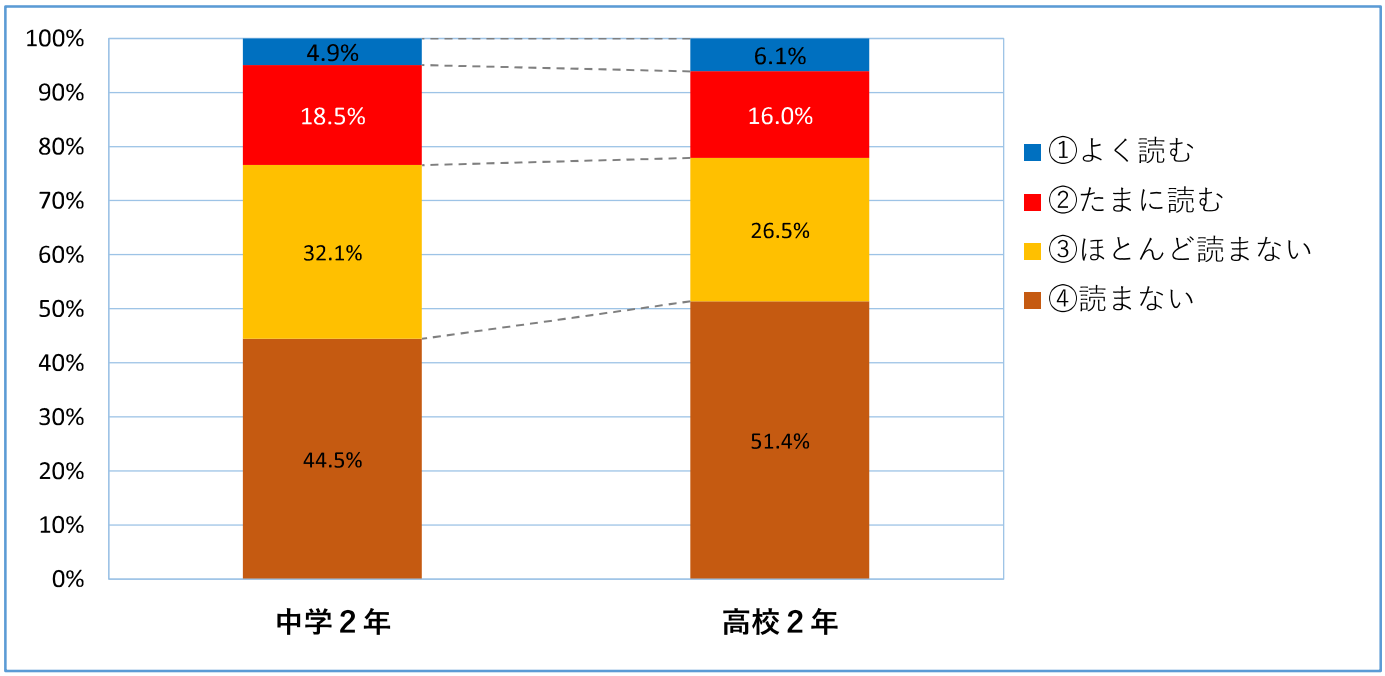
（質問5 ※小学生のみ）読書通帳に、読んだ本の記録をつけていますか。[単数回答]

	小学２年	小学５年
①つけている	40.7%	26.1%
②つけていない	38.8%	55.6%
③読書通帳を知らない	20.5%	18.3%



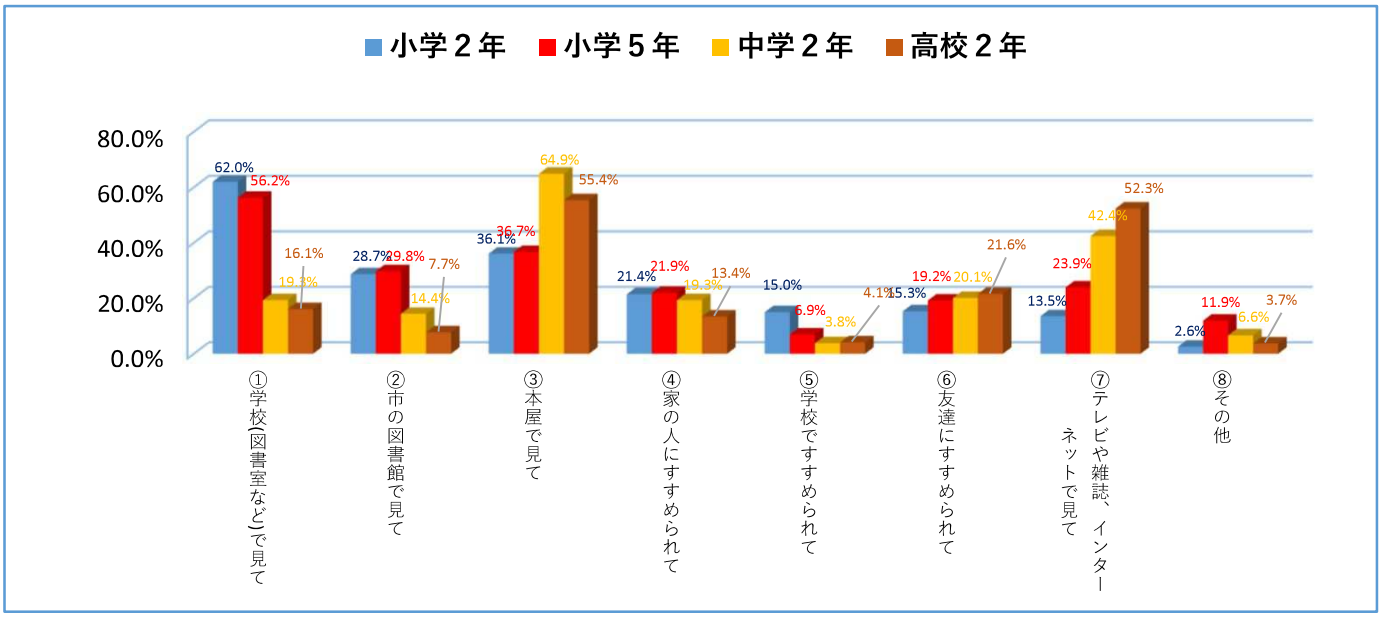
（質問5 ※中・高生のみ）タブレットやスマートフォンなどで読める本（電子書籍）を読むことはありますか。[単数回答]

	中学２年	高校２年
①よく読む	4.9%	6.1%
②たまに読む	18.5%	16.0%
③ほとんど読まない	32.1%	26.5%
④読まない	44.5%	51.4%



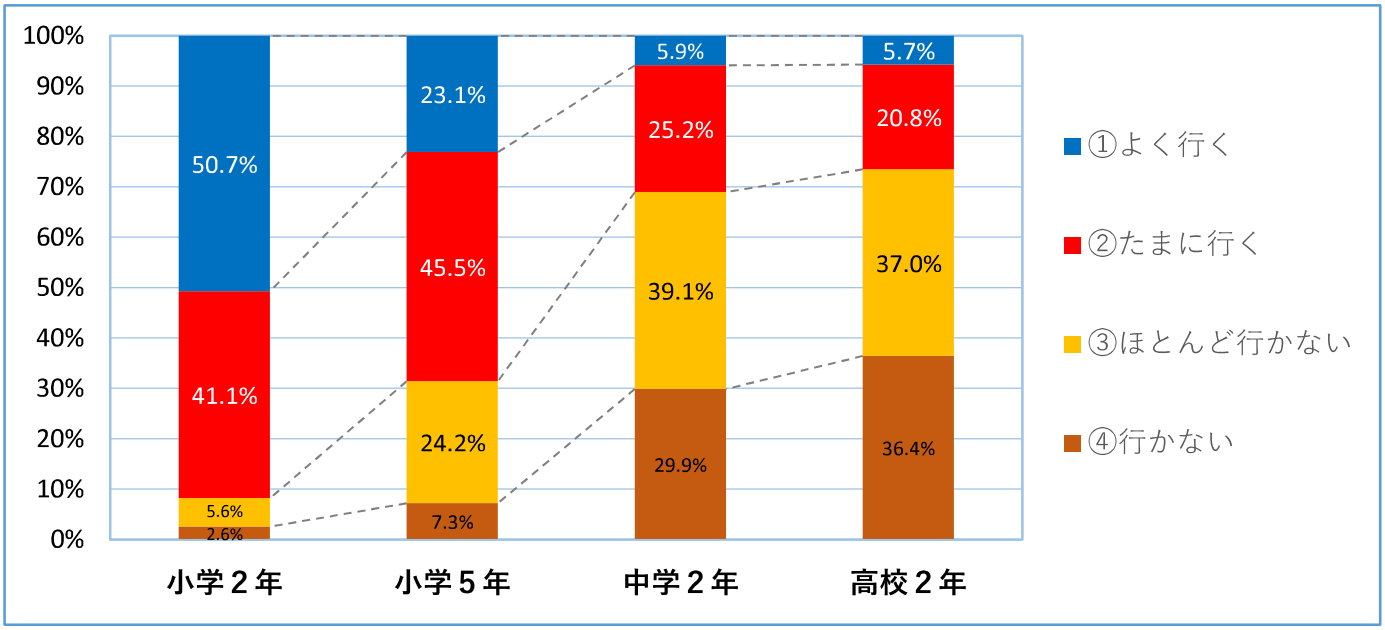
（質問6）いつも、読む本をどうやって選びますか。[複数回答]

	小学２年	小学５年	中学２年	高校２年
①学校(図書室など)で見て	62.0%	56.2%	19.3%	16.1%
②市の図書館で見て	28.7%	29.8%	14.4%	7.7%
③本屋で見て	36.1%	36.7%	64.9%	55.4%
④家の人にすすめられて	21.4%	21.9%	19.3%	13.4%
⑤学校ですすめられて	15.0%	6.9%	3.8%	4.1%
⑥友達にすすめられて	15.3%	19.2%	20.1%	21.6%
⑦テレビや雑誌、インターネットで見て	13.5%	23.9%	42.4%	52.3%
⑧その他	2.6%	11.9%	6.6%	3.7%



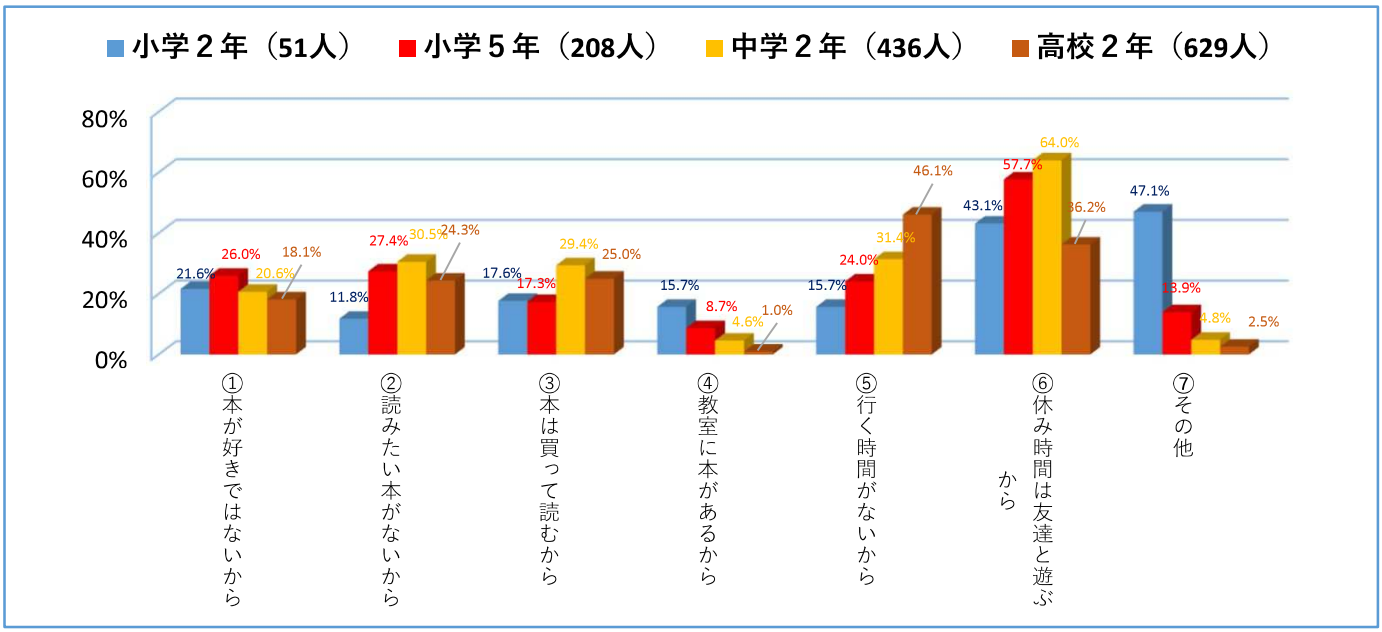
（質問7）学校の図書室に行くことはありますか。[単数回答]

	小学２年	小学５年	中学２年	高校２年
①よく行く	50.7%	23.1%	5.9%	5.7%
②たまに行く	41.1%	45.5%	25.2%	20.8%
③ほとんど行かない	5.6%	24.2%	39.1%	37.0%
④行かない	2.6%	7.3%	29.9%	36.4%



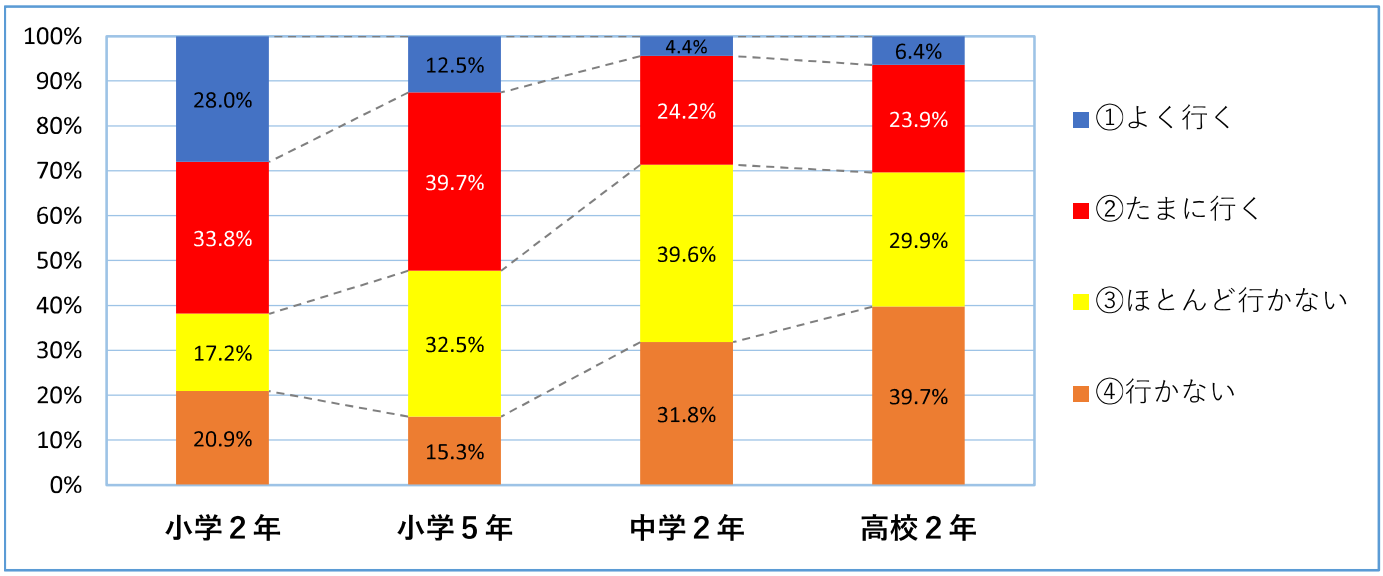
（質問8）質問7で「ほとんど行かない」または「行かない」を選んだ人は、答えてください。
行かないのはなぜですか。[複数回答]

	小学２年（51人）	小学５年（208人）	中学２年（436人）	高校２年（629人）
①本が好きではないから	21.6%	26.0%	20.6%	18.1%
②読みたい本がないから	11.8%	27.4%	30.5%	24.3%
③本は買って読むから	17.6%	17.3%	29.4%	25.0%
④教室に本があるから	15.7%	8.7%	4.6%	1.0%
⑤行く時間がないから	15.7%	24.0%	31.4%	46.1%
⑥休み時間は友達と遊ぶから	43.1%	57.7%	64.0%	36.2%
⑦その他	47.1%	13.9%	4.8%	2.5%



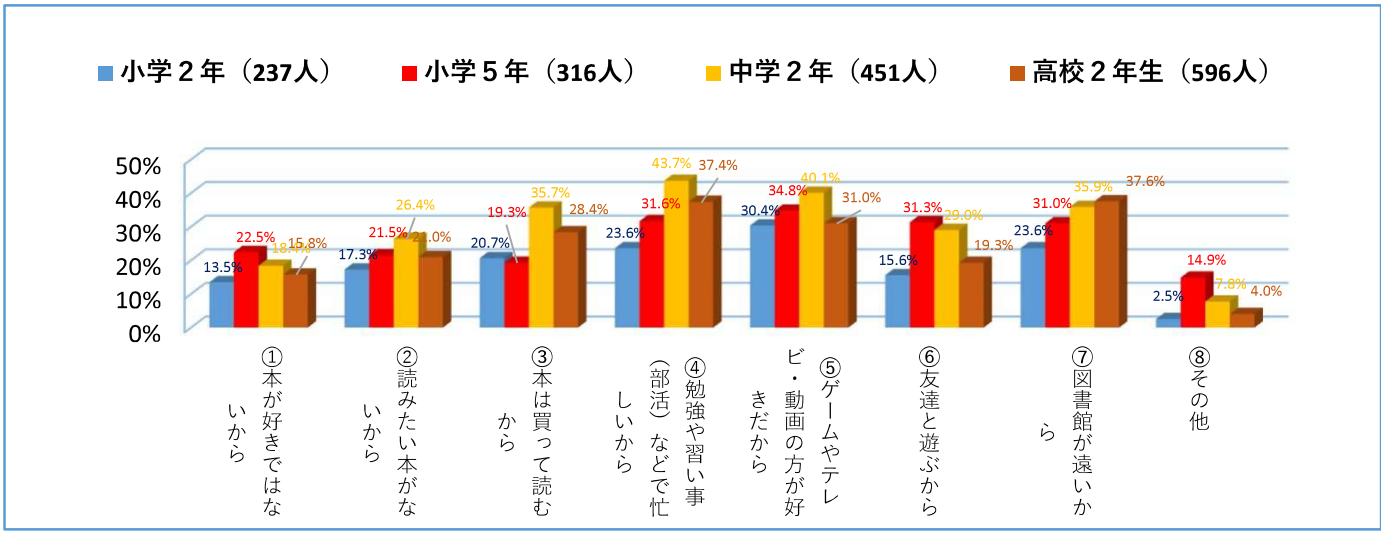
（質問9）市（市町村）の図書館に行くことはありますか。[単数回答]

	小学２年	小学５年	中学２年	高校２年
①よく行く	28.0%	12.5%	4.4%	6.4%
②たまに行く	33.8%	39.7%	24.2%	23.9%
③ほとんど行かない	17.2%	32.5%	39.6%	29.9%
④行かない	20.9%	15.3%	31.8%	39.7%



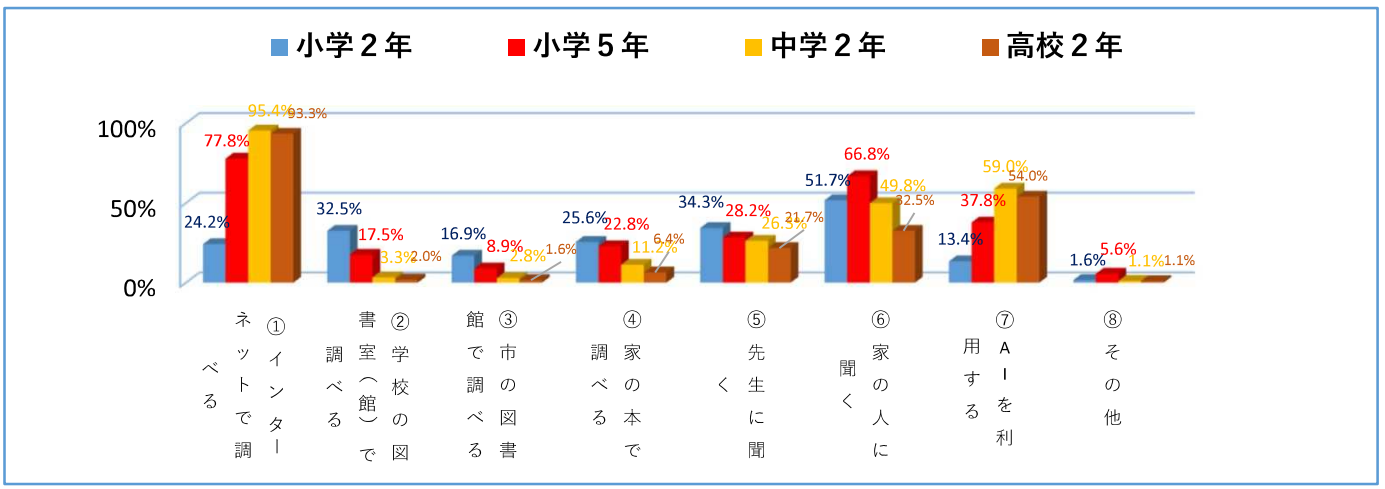
（質問10）質問9で「ほとんど行かない」または「行かない」を選んだ人は、答えてください。
行かないのはなぜですか。[複数回答]

	小学２年（237人）	小学５年（316人）	中学２年（451人）	高校２年生（596人）
①本が好きではないから	13.5%	22.5%	18.4%	15.8%
②読みたい本がないから	17.3%	21.5%	26.4%	21.0%
③本は買って読むから	20.7%	19.3%	35.7%	28.4%
④勉強や習い事（部活）などで忙しいから	23.6%	31.6%	43.7%	37.4%
⑤ゲームやテレビ・動画の方が好きだから	30.4%	34.8%	40.1%	31.0%
⑥友達と遊ぶから	15.6%	31.3%	29.0%	19.3%
⑦図書館が遠いから	23.6%	31.0%	35.9%	37.6%
⑧その他	2.5%	14.9%	7.8%	4.0%



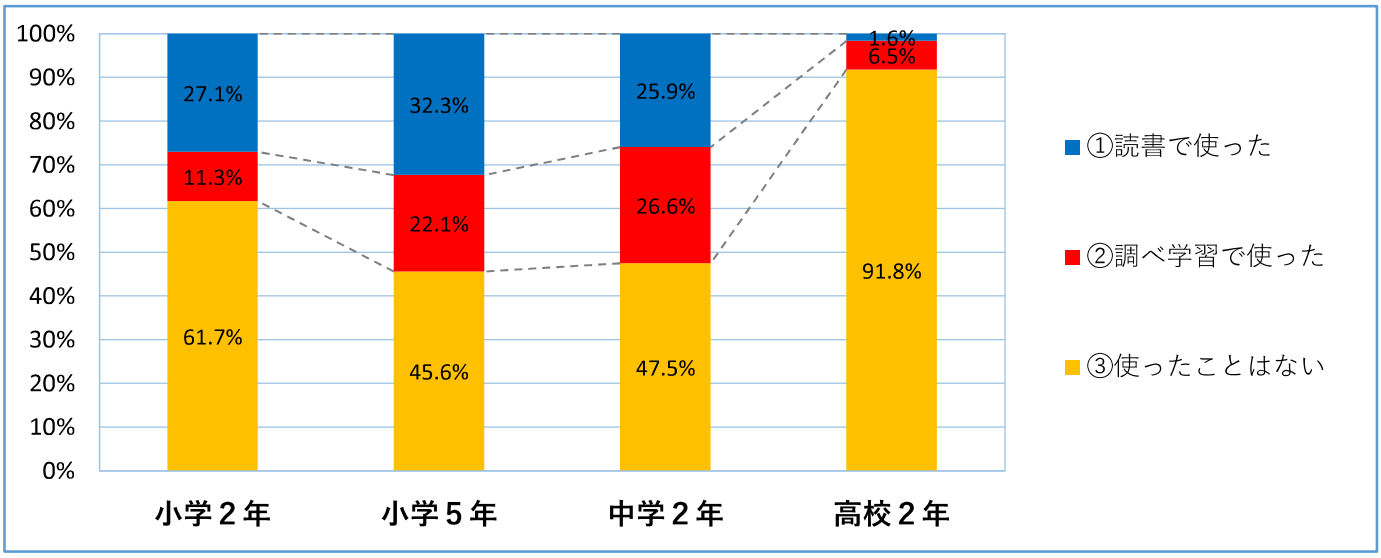
（質問11）わからないことや知りたいことがあったとき、どうやって調べますか。[複数回答]

	小学２年	小学５年	中学２年	高校２年
①インターネットで調べる	24.2%	77.8%	95.4%	93.3%
②学校の図書室（館）で調べる	32.5%	17.5%	3.3%	2.0%
③市の図書館で調べる	16.9%	8.9%	2.8%	1.6%
④家の本で調べる	25.6%	22.8%	11.2%	6.4%
⑤先生に聞く	34.3%	28.2%	26.3%	21.7%
⑥家の人に聞く	51.7%	66.8%	49.8%	32.5%
⑦AIを利用する	13.4%	37.8%	59.0%	54.0%
⑧その他	1.6%	5.6%	1.1%	1.1%



（質問12）「比企eライブラリ」（電子図書館）を使ったことはありますか。[単数回答]

	小学２年	小学５年	中学２年	高校２年
①読書で使った	27.1%	32.3%	25.9%	1.6%
②調べ学習で使った	11.3%	22.1%	26.6%	6.5%
③使ったことはない	61.7%	45.6%	47.5%	91.8%

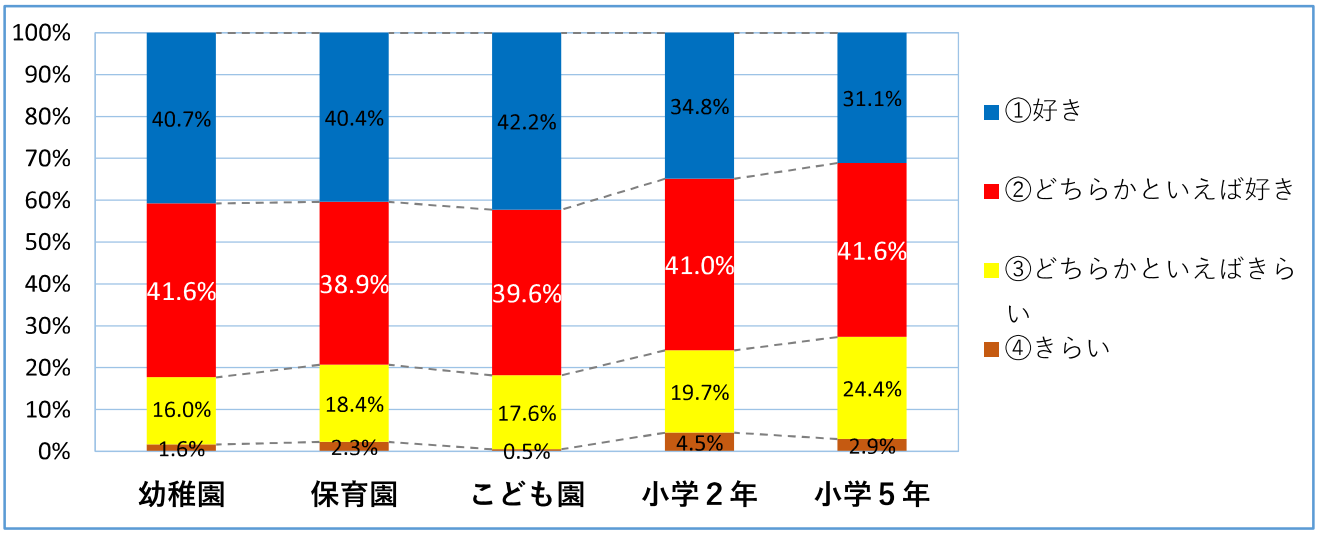


◇◇東松山市子どもの読書アンケート調査結果◇◇

アンケート実施期間：令和８年７月１日～令和８年７月１６日
アンケート回答者数：幼稚園児保護者 ２４３人、保育園児保護者 ４８３人
認定こども園保護者１８７人、小２保護者 ３５６人
小５保護者３７３人
※端数処理のため、合計が１００．０％にならない場合があります。

（質問1）あなたは、本を読むことが好きですか。[単数回答]

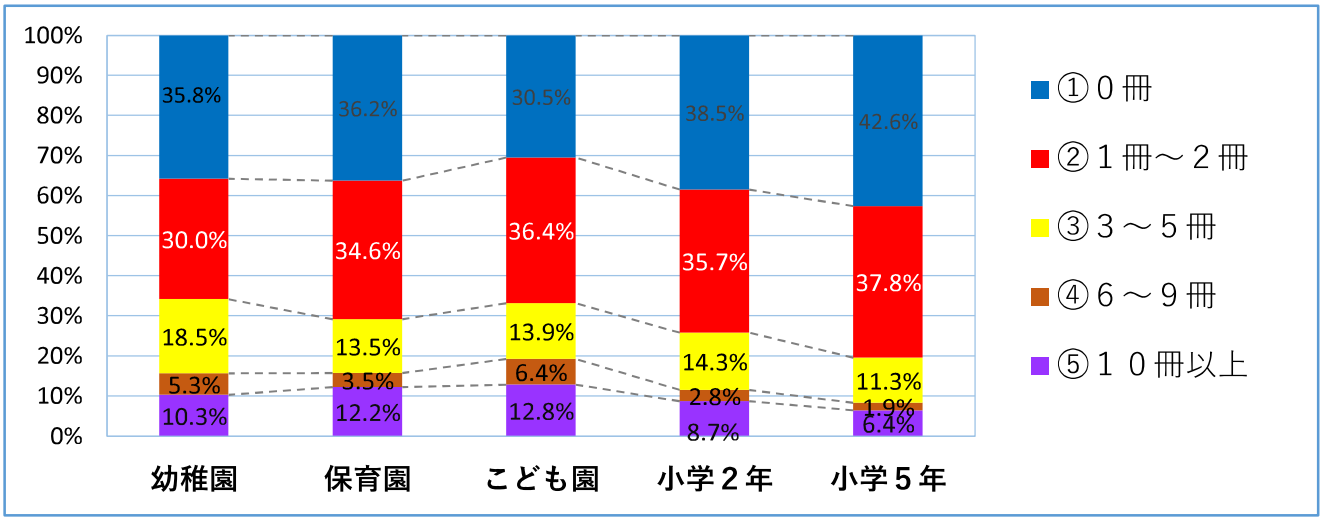
	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①好き	40.7%	40.4%	42.2%	34.8%	31.1%
②どちらかといえば好き	41.6%	38.9%	39.6%	41.0%	41.6%
③どちらかといえばきらい	16.0%	18.4%	17.6%	19.7%	24.4%
④きらい	1.6%	2.3%	0.5%	4.5%	2.9%



（質問2）６月に、何冊の本を読みましたか。[単数回答]

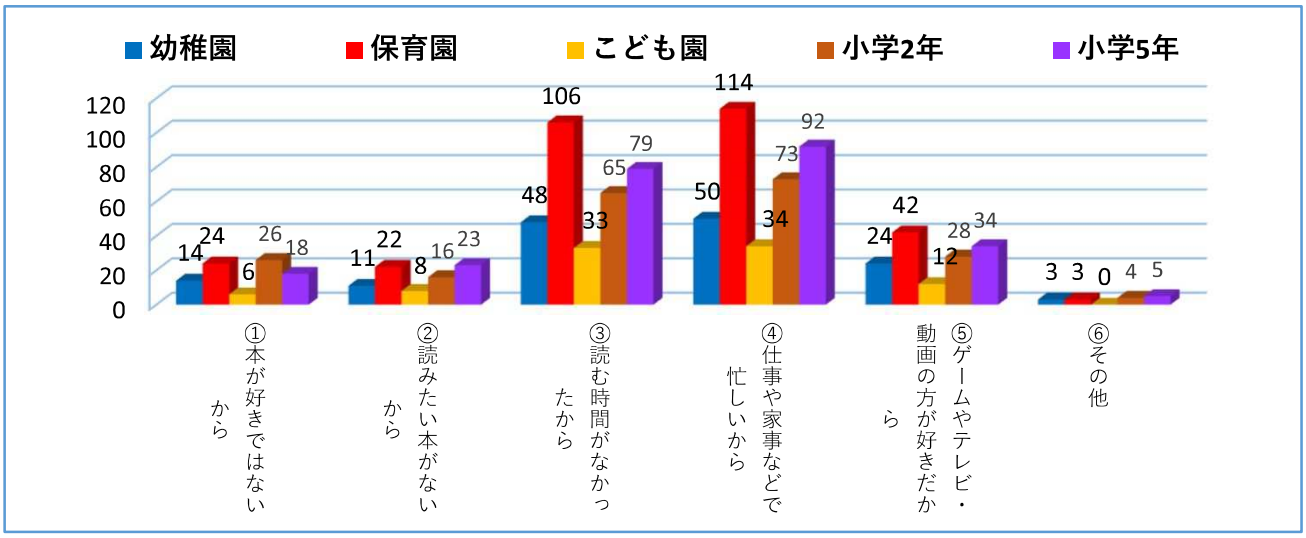
※読みかけの本、タブレットやスマートフォンなどで読める本も１冊に数えます。
マンガ・雑誌は数えません。オーディオブックも数えます。

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①０冊	35.8%	36.2%	30.5%	38.5%	42.6%
②１冊～２冊	30.0%	34.6%	36.4%	35.7%	37.8%
③３～５冊	18.5%	13.5%	13.9%	14.3%	11.3%
④６～９冊	5.3%	3.5%	6.4%	2.8%	1.9%
⑤１０冊以上	10.3%	12.2%	12.8%	8.7%	6.4%



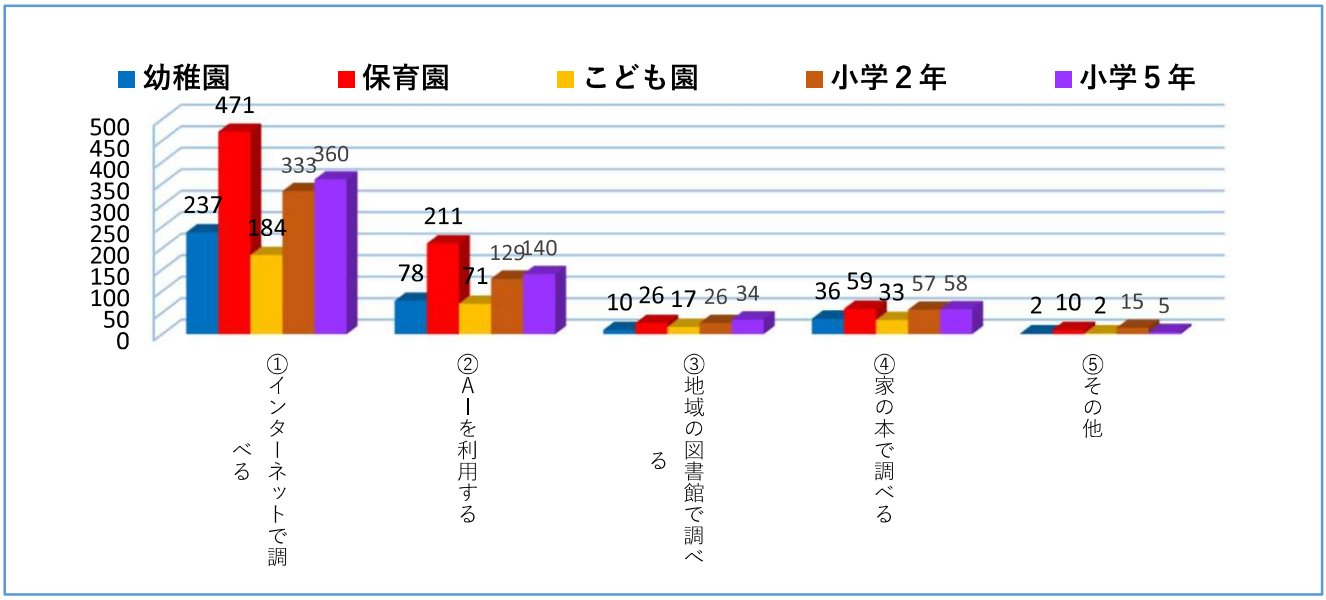
（質問3）質問2で、「０冊」を選んだ人は、答えてください。読まなかったのはなぜですか。
［複数回答］

	幼稚園（87人）	保育園（175人）	こども園（57人）	小学2年（137人）	小学5年（159人）
①本が好きではないから	14	24	6	26	18
②読みたい本がないから	11	22	8	16	23
③読む時間がなかったから	48	106	33	65	79
④仕事や家事などで忙しいから	50	114	34	73	92
⑤ゲームやテレビ・動画の方が好きだから	24	42	12	28	34
⑥その他	3	3	0	4	5



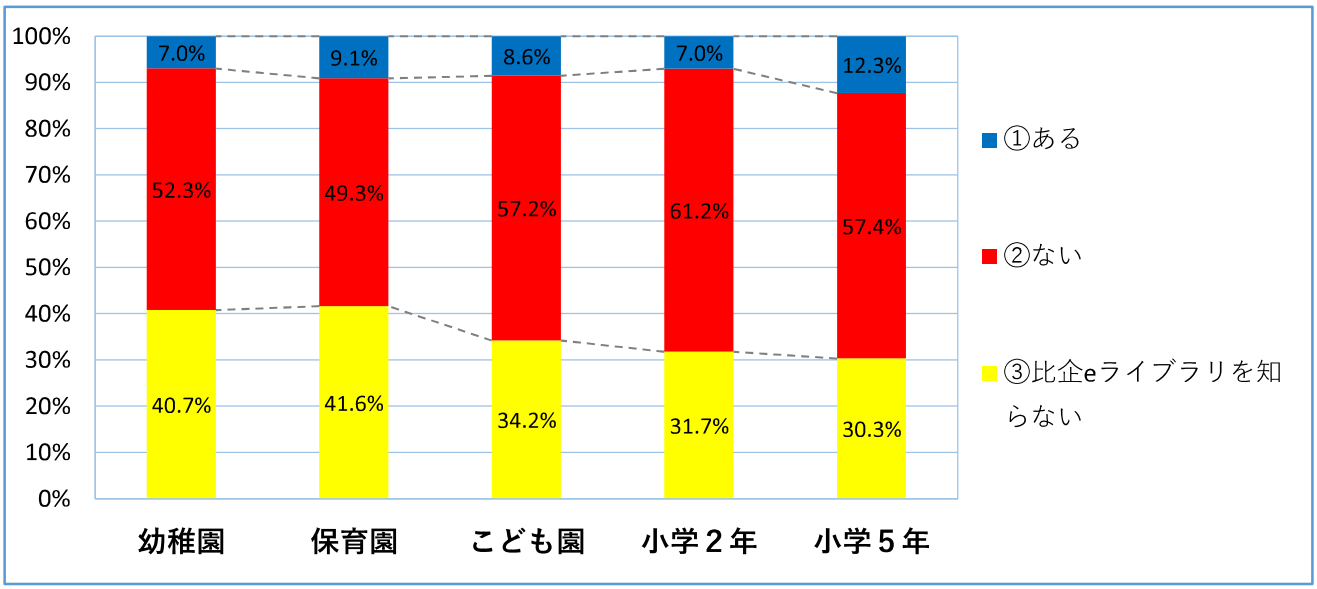
（質問4）わからないことや知りたいことがあったとき、どうやって調べますか。［複数回答］

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①インターネットで調べる	237	471	184	333	360
②ＡＩを利用する	78	211	71	129	140
③地域の図書館で調べる	10	26	17	26	34
④家の本で調べる	36	59	33	57	58
⑤その他	2	10	2	15	5



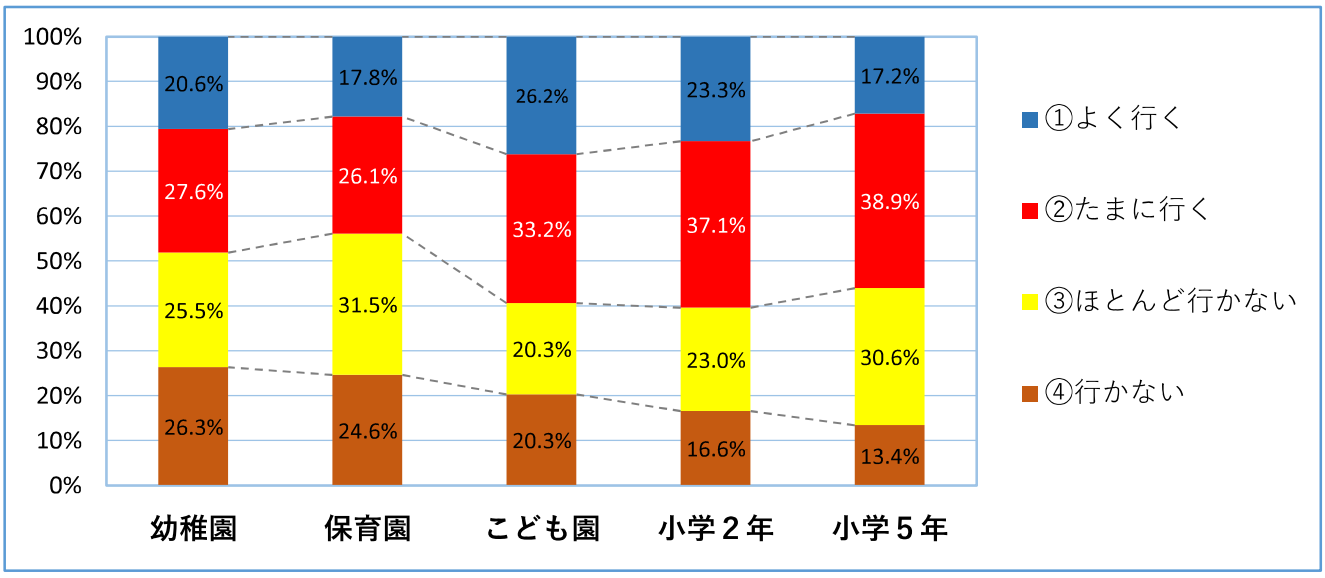
（質問5）「比企eライブラリ」（電子図書館）を使ったことはありますか。[単数回答]

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①ある	7.0%	9.1%	8.6%	7.0%	12.3%
②ない	52.3%	49.3%	57.2%	61.2%	57.4%
③比企eライブラリを知らない	40.7%	41.6%	34.2%	31.7%	30.3%



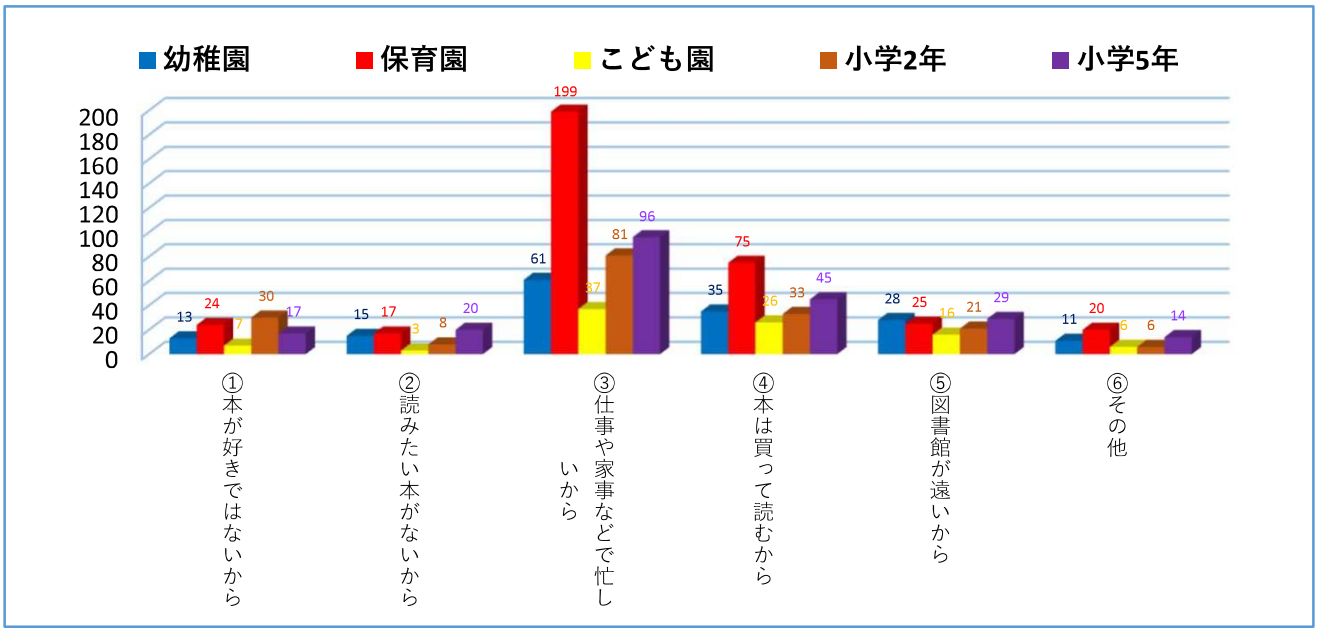
（質問6）市の図書館に行くことはありますか。[単数回答]

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①よく行く	20.6%	17.8%	26.2%	23.3%	17.2%
②たまに行く	27.6%	26.1%	33.2%	37.1%	38.9%
③ほとんど行かない	25.5%	31.5%	20.3%	23.0%	30.6%
④行かない	26.3%	24.6%	20.3%	16.6%	13.4%



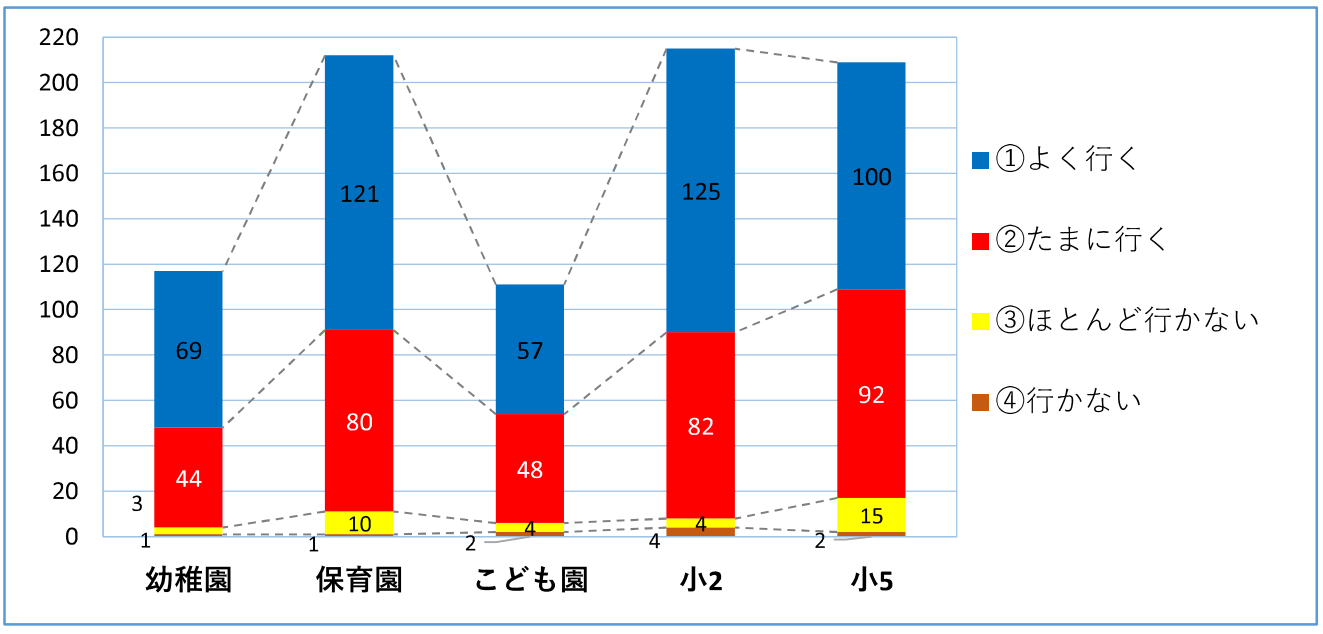
（質問7）質問6で「ほとんど行かない」または「行かない」を選んだ人は、答えてください。
行かないのはなぜですか。[複数回答]

	幼稚園（126人）	保育園（271人）	こども園（76人）	小学２年（141人）	小学５年（164人）
①本が好きではないから	13	24	7	30	17
②読みたい本がないから	15	17	3	8	20
③仕事や家事などで忙しいから	61	199	37	81	96
④本は買って読むから	35	75	26	33	45
⑤図書館が遠いから	28	25	16	21	29
⑥その他	11	20	6	6	14



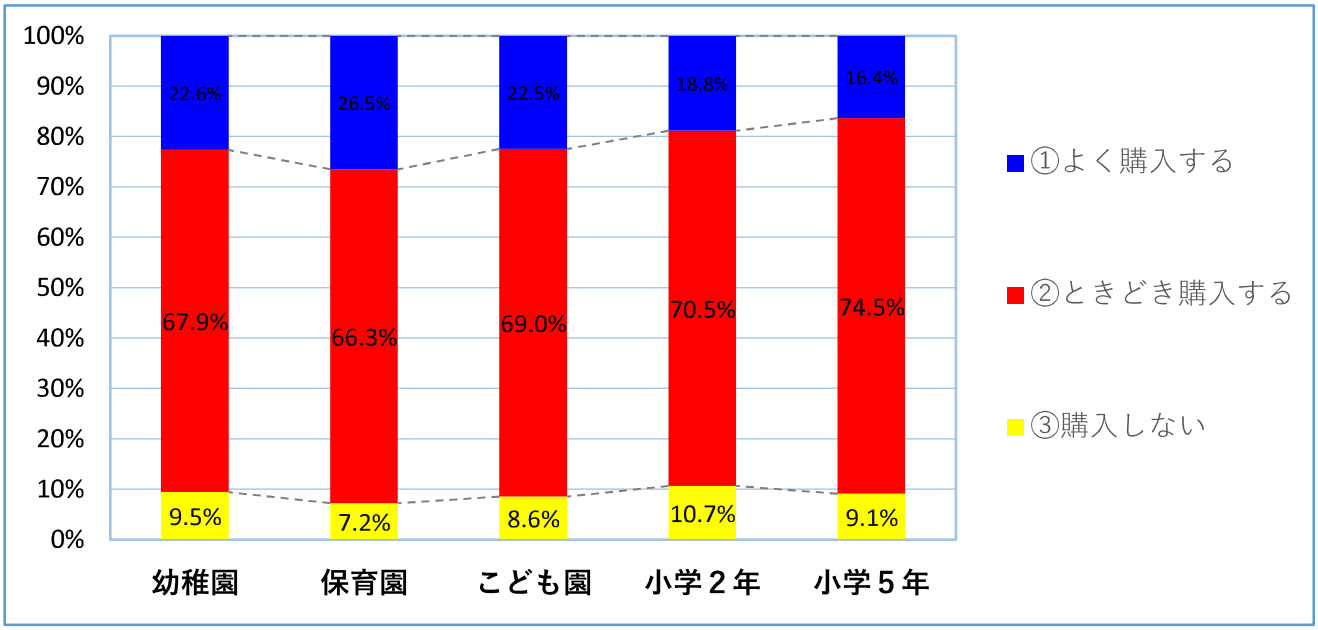
（質問8）質問６で「よく行く」または「たまに行く」を選んだ人は、答えてください。
図書館にはお子さんと一緒に行きますか。[単数回答]

	幼稚園（117人）	保育園（212人）	こども園（111人）	小２（215人）	小５（209人）
①よく行く	69	121	57	125	100
②たまに行く	44	80	48	82	92
③ほとんど行かない	3	10	4	4	15
④行かない	1	1	2	4	2



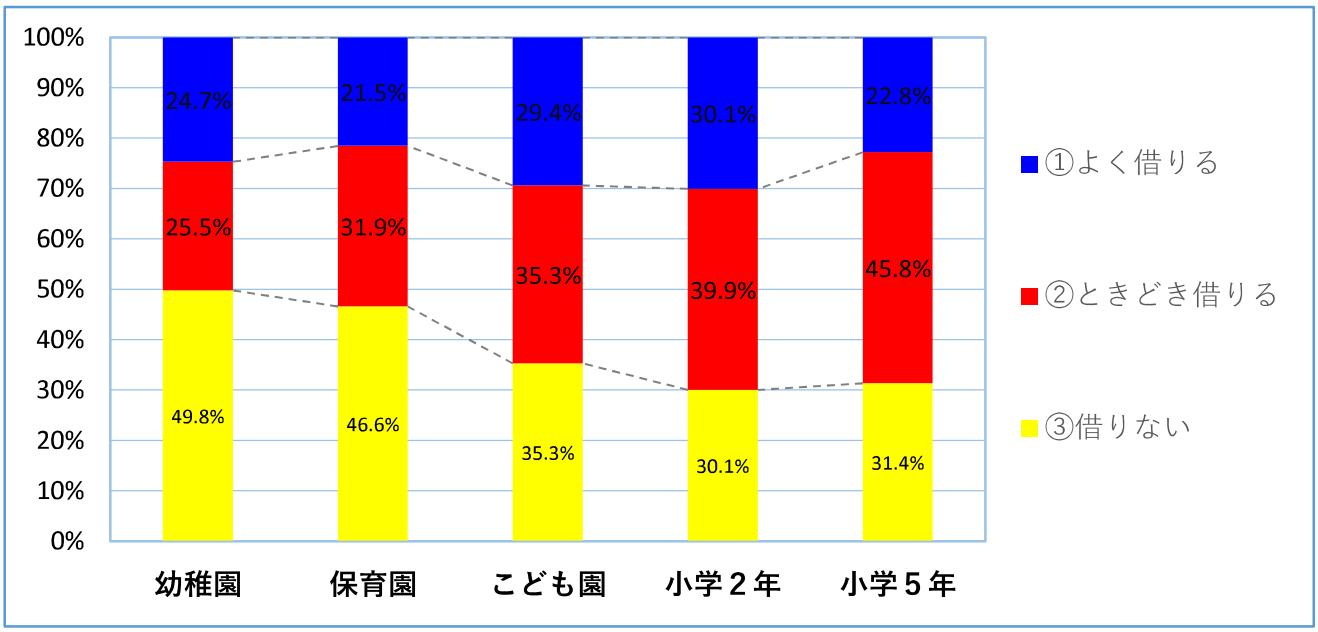
（質問9）自分のお子さんのために本を購入しますか。[単数回答]

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①よく購入する	22.6%	26.5%	22.5%	18.8%	16.4%
②ときどき購入する	67.9%	66.3%	69.0%	70.5%	74.5%
③購入しない	9.5%	7.2%	8.6%	10.7%	9.1%



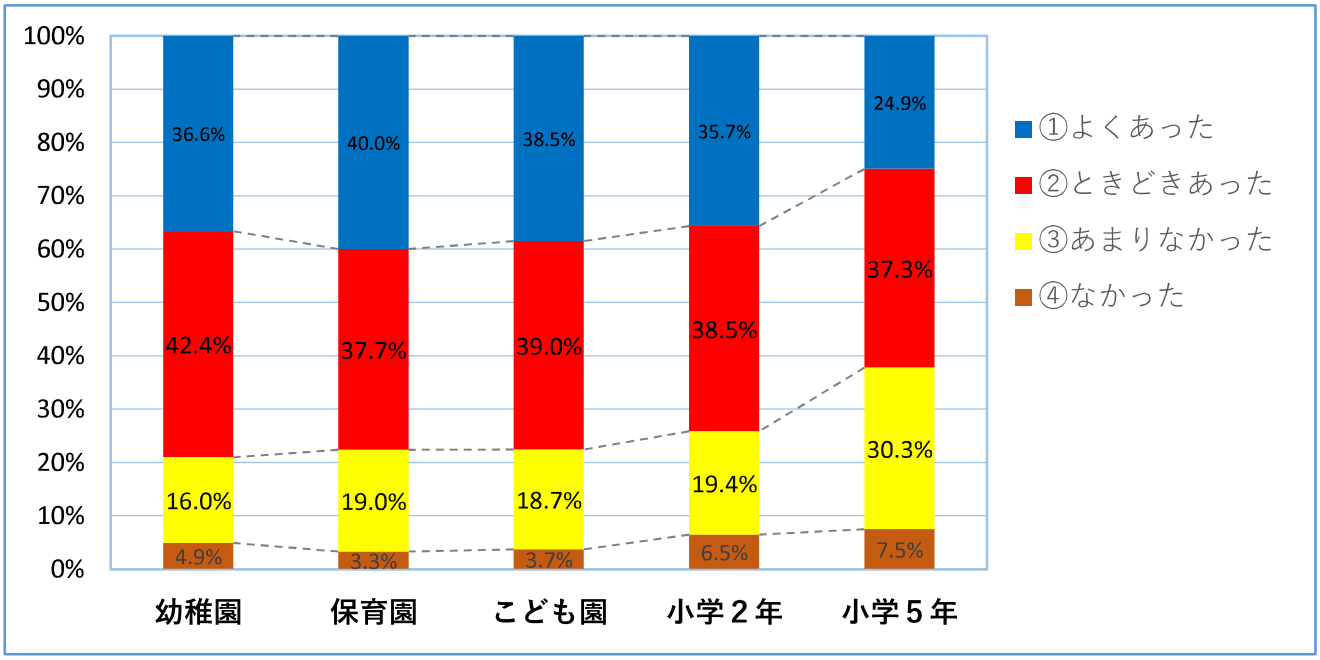
（質問10）自分のお子さんのために図書館で本を借りますか。[単数回答]

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①よく借りる	24.7%	21.5%	29.4%	30.1%	22.8%
②ときどき借りる	25.5%	31.9%	35.3%	39.9%	45.8%
③借りない	49.8%	46.6%	35.3%	30.1%	31.4%



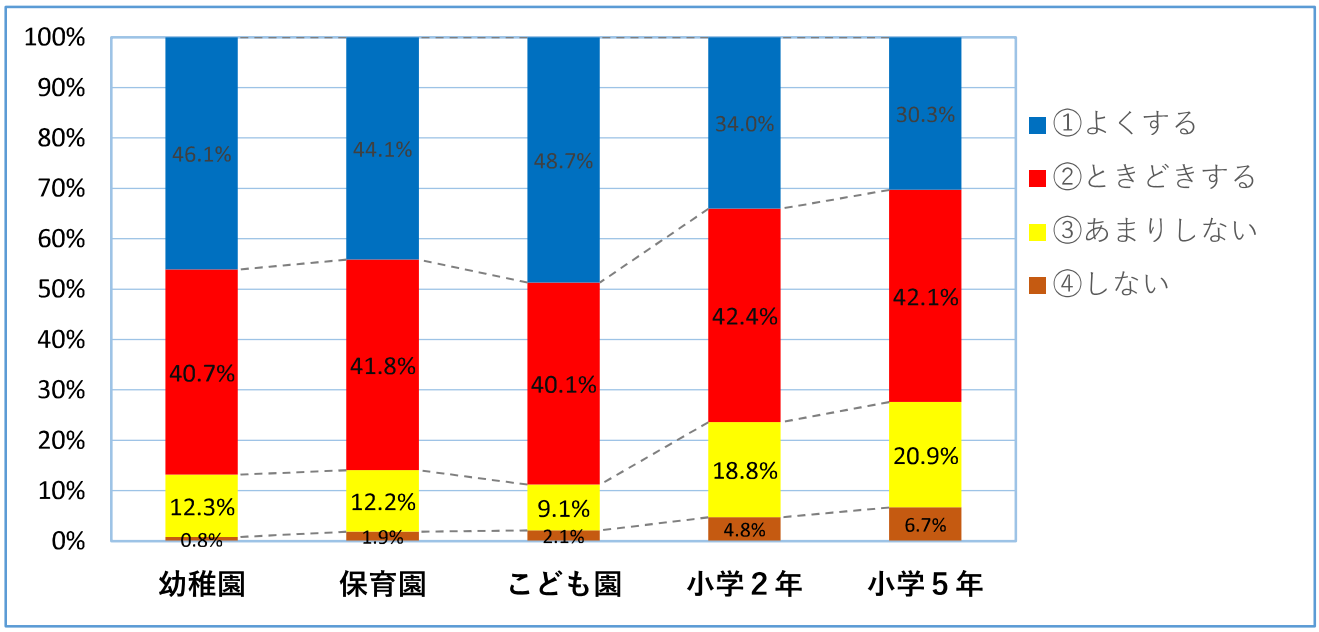
（質問11）子どもの頃、家の人や身近な人に本を読んでもらったことはありましたか。[単数回答]

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①よくあった	36.6%	40.0%	38.5%	35.7%	24.9%
②ときどきあった	42.4%	37.7%	39.0%	38.5%	37.3%
③あまりなかった	16.0%	19.0%	18.7%	19.4%	30.3%
④なかった	4.9%	3.3%	3.7%	6.5%	7.5%



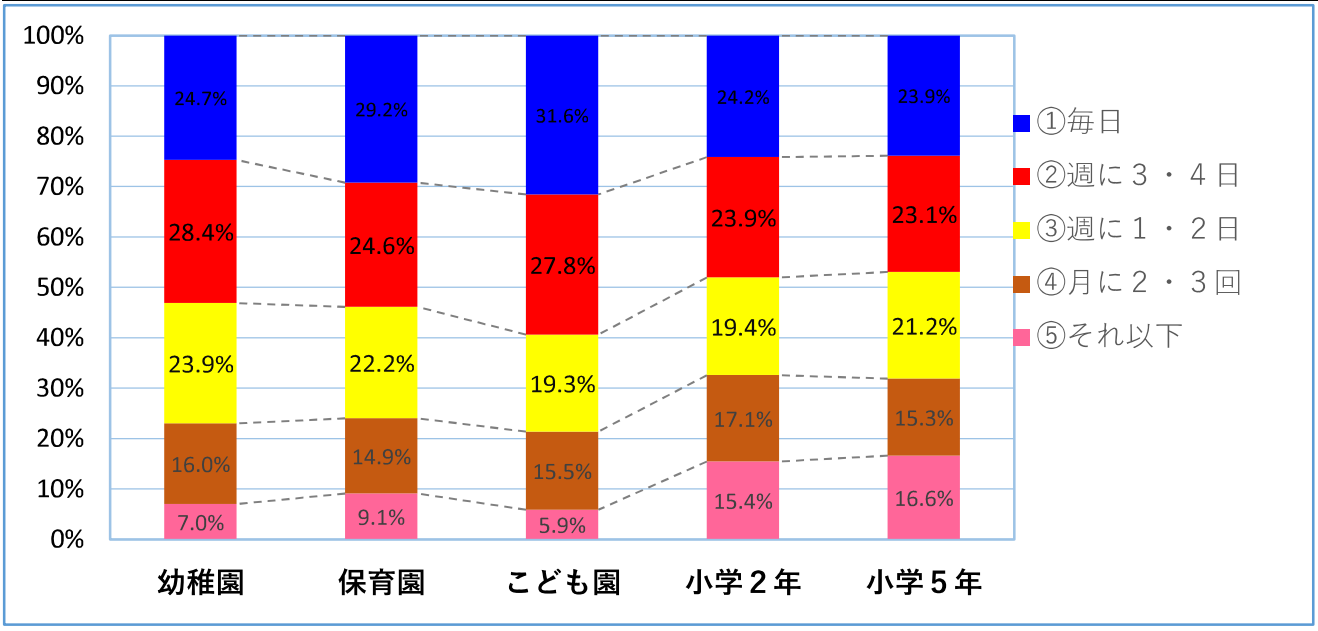
（質問12）自分のお子さんに本の読み聞かせはしています（していました）か。[単数回答]

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①よくする	46.1%	44.1%	48.7%	34.0%	30.3%
②ときどきする	40.7%	41.8%	40.1%	42.4%	42.1%
③あまりしない	12.3%	12.2%	9.1%	18.8%	20.9%
④しない	0.8%	1.9%	2.1%	4.8%	6.7%



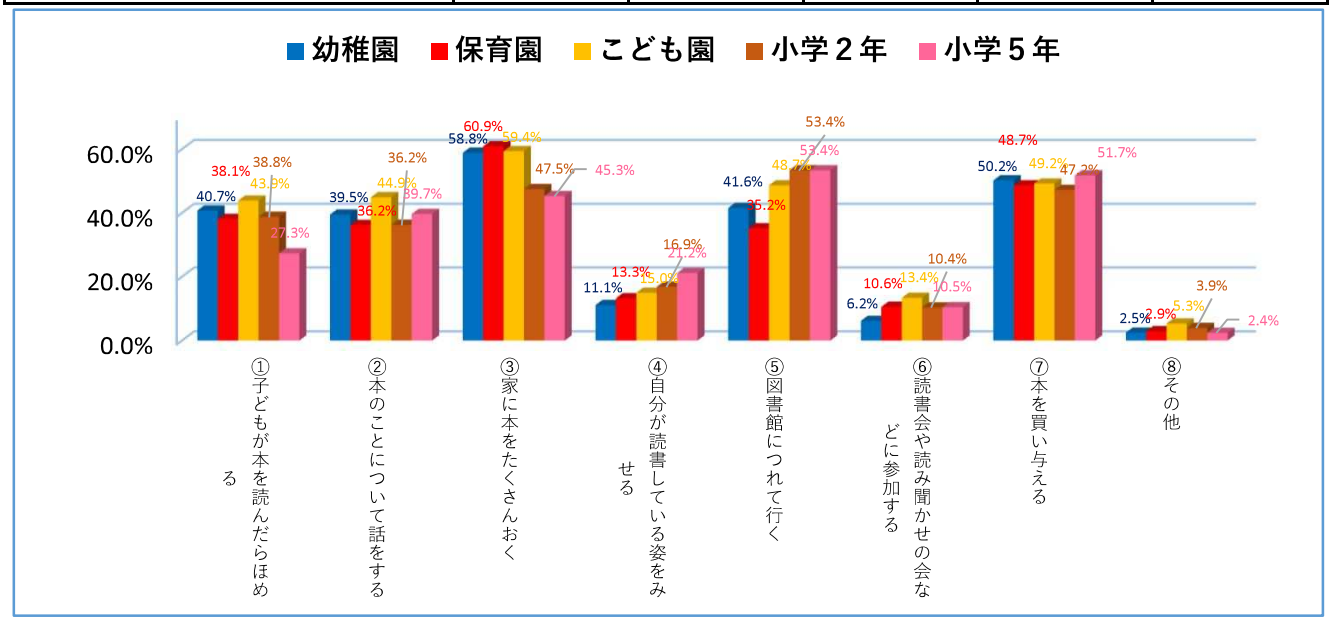
（質問13）自分のお子さんに本の読み聞かせをする（していた）頻度について。[単数回答]

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①毎日	24.7%	29.2%	31.6%	24.2%	23.9%
②週に３・４日	28.4%	24.6%	27.8%	23.9%	23.1%
③週に１・２日	23.9%	22.2%	19.3%	19.4%	21.2%
④月に２・３回	16.0%	14.9%	15.5%	17.1%	15.3%
⑤それ以下	7.0%	9.1%	5.9%	15.4%	16.6%



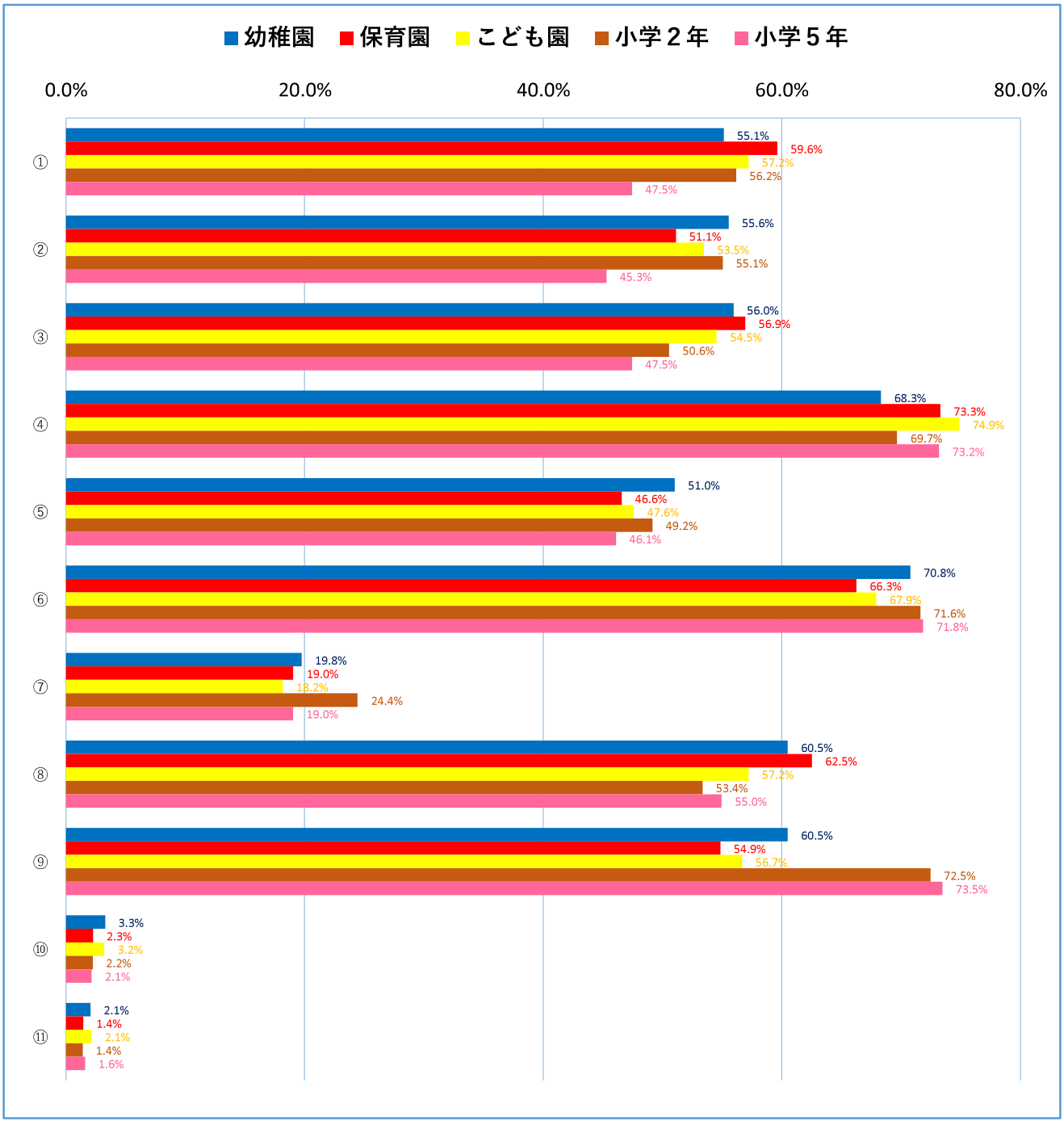
（質問14）子どもの読書活動を推進するためにしている（していた）ことはなんですか。[複数回答]

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①子どもが本を読んだらほめる	40.7%	38.1%	43.9%	38.8%	27.3%
②本のことについて話をする	39.5%	36.2%	44.9%	36.2%	39.7%
③家に本をたくさんおく	58.8%	60.9%	59.4%	47.5%	45.3%
④自分が読書している姿をみせる	11.1%	13.3%	15.0%	16.9%	21.2%
⑤図書館につれて行く	41.6%	35.2%	48.7%	53.4%	53.4%
⑥読書会や読み聞かせの会などに参加する	6.2%	10.6%	13.4%	10.4%	10.5%
⑦本を買い与える	50.2%	48.7%	49.2%	47.2%	51.7%
⑧その他	2.5%	2.9%	5.3%	3.9%	2.4%



（質問15）子どもの読書に対して何を期待しますか。[複数回答]

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
①創造力が養われる	55.1%	59.6%	57.2%	56.2%	47.5%
②表現力が身につく	55.6%	51.1%	53.5%	55.1%	45.3%
③感性が身につく	56.0%	56.9%	54.5%	50.6%	47.5%
④語彙が増加する	68.3%	73.3%	74.9%	69.7%	73.2%
⑤言語感覚が養われる	51.0%	46.6%	47.6%	49.2%	46.1%
⑥知識が増える	70.8%	66.3%	67.9%	71.6%	71.8%
⑦論理的な思考力が身につく	19.8%	19.0%	18.2%	24.4%	19.0%
⑧想像力が養われる	60.5%	62.5%	57.2%	53.4%	55.0%
⑨読解力が身につく	60.5%	54.9%	56.7%	72.5%	73.5%
⑩期待しているものはない	3.3%	2.3%	3.2%	2.2%	2.1%
⑪その他	2.1%	1.4%	2.1%	1.4%	1.6%



（質問16）子どもの読書活動についての意見など、何でも自由に記入してください。［自由記述］

	幼稚園	保育園	こども園	小学２年	小学５年
回答数	42	85	37	57	79

回答（抜粋）

【子どもの読書活動について】

〇強制はしたくないが、YouTubeやテレビの方が、楽しいため、なかなか本を読もうとしない。読書の良さを伝えはするが興味がわかないようだ。［小5］

〇読む子は読むし、読まない子は読まない感もありますが、全体的な底上げは仕組みの面が大きいのかなと思います。私自身は中学生の時に週1冊の読書ノート(感想文)を提出する課題があったことで、読書習慣がついたと感じているため。［保育園］

〇平日は、読み聞かせどころか、話し相手や遊び相手をする暇もないのが共働きの現状だと思います。保育園様様です。（後略）［保育園］

〇学校や家（くもんでの音読）で触れる機会が多いほど、読まず嫌いが少ないように思います。［小2］

【図書館等への意見・要望等について】

〇図書館に英語のえほんも備えてほしい［幼稚園］

〇幼稚園生用に読書通帳を作って頂けると、子どもも励みになり、親としても嬉しいです。［幼稚園］

〇我が子は本を読むことよりも図書館に行くこと自体が好きみたいです［こども園］

〇子どもは発達が遅れています。図書館で走ったり、大きな声を出してしまうことがあるため、子どもを連れて図書館には行けません。（後略）［認定こども園］

〇子どもが本が好きなのでよく図書館に行きますが、駐車場が狭かったり、トイレも子供には使いにくく大変です。［幼稚園］

〇子どもは図書館に行きたがりますが図書館が遠いです。［保育園］

第3次東松山市子ども読書活動推進計画

令和9年度～令和13年度

（2027年度～2031年度）

【素案】



東松山市教育委員会

目　次

ﾍﾟｰｼﾞ

第１章　計画策定の趣旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
　１　計画策定の背景・目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
　２　計画の性格と位置付け　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
　３　計画の対象範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
　４　計画の期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
　５　関係機関　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

第２章　読書の現状と課題　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
　１　第２次計画（令和４年度～令和８年度）の目標達成度　・・・・・・４
　２　第２次計画の成果と課題　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

第３章　基本方針・施策体系・進行管理　・・・・・・・・・・・・・・・１５
　１　基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
　２　施策体系　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
　３　進行管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

第４章　子どもの読書活動推進のための取組　・・・・・・・・・・・・・１９
Ⅰ　家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
　１　図書館における推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
　２　家庭における推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
　３　地域における推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
　４　学校等における推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４

Ⅱ　子どもの読書活動の啓発・普及　・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
　１　「子ども読書の日」を中心とした啓発　・・・・・・・・・・・・・・２７
　２　読書活動に係る情報収集・提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

参考資料　略

第1章　計画策定の趣旨

Ⅰ　計画策定の背景・目的

言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであるという「子どもの読書活動の推進に関する法律」の基本理念に基づき、国、県の動向を踏まえ、東松山市では平成２９年度からの５年間を計画期間とする「子ども読書活動推進計画」を策定しました。

この５年間の取組を検証し、今後の課題を取り上げ、市全体でさらに充実・発展させるために令和４年度から令和８年度までの５年間を計画期間とする第２次計画を策定しました。

しかしながら、娯楽の多様化やデジタル機器の普及、時間的な制約、読書に対する苦手意識や意欲の低下、家庭や教育現場の環境などを原因として子どもの「読書離れ」が国や埼玉県の調査などで指摘されています。

こうした中、子どもが読書に親しみながら成長できるような取組を推進していくことは、今後ますます重要になっていくと考えられます。

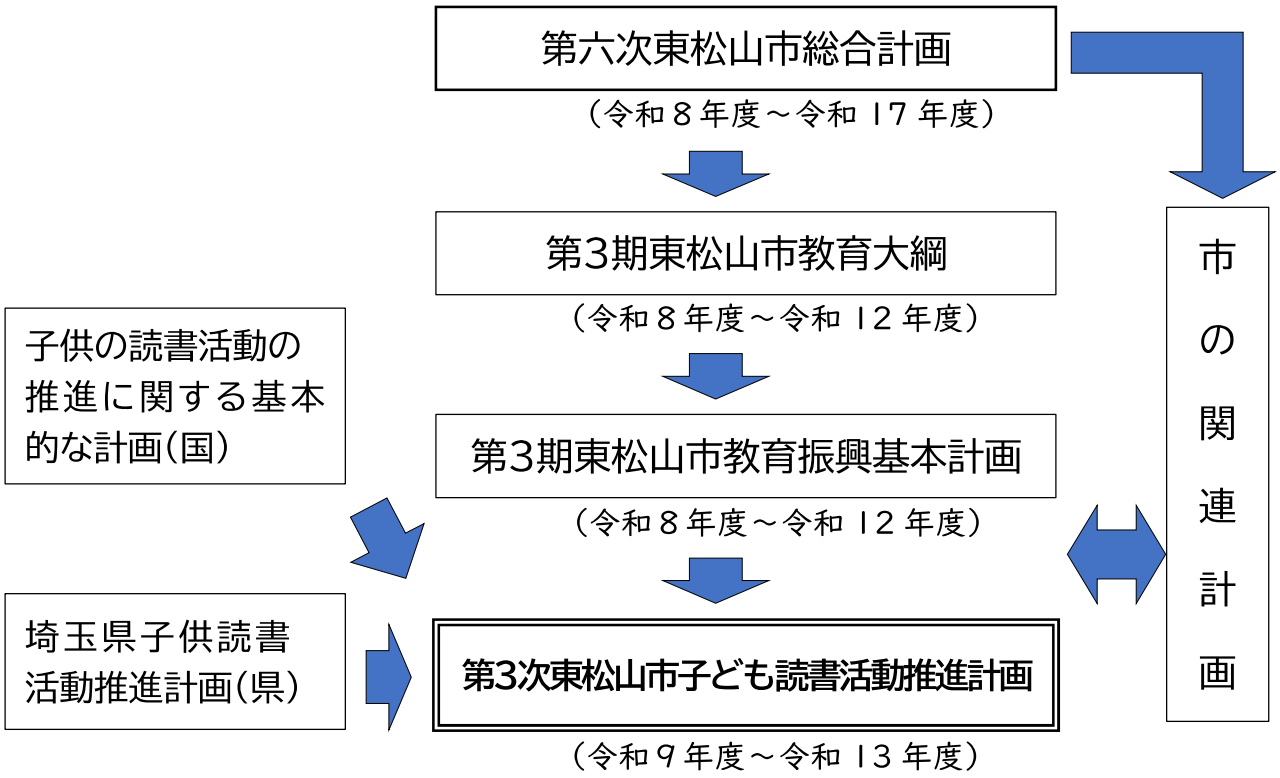
この「第３次東松山市子ども読書活動推進計画」（令和９年度～令和１３年度）は、これまでの取組の成果や課題を踏まえ、今後の子どもの読書活動をより一層推進していくことを目的として策定したものです。

２　計画の性格と位置付け

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成１３年１２月施行）　第９条第２項に基づく「市町村子ども読書活動推進計画」であって、これまでの「第２次東松山市子ども読書活動推進計画」（令和４年度～令和８年度）を引き継ぐ計画として策定したものです。

また、本計画は、国が策定した「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」及び県が策定した「埼玉県子供読書活動推進計画」を基本とするとともに、「東松山市総合計画」、「東松山市教育大綱」及び「東松山市教育振興基本計画」を上位計画とし、その他の関連計画と整合を図りながら進めていくものです。

◇計画の関連図



3　計画の対象範囲

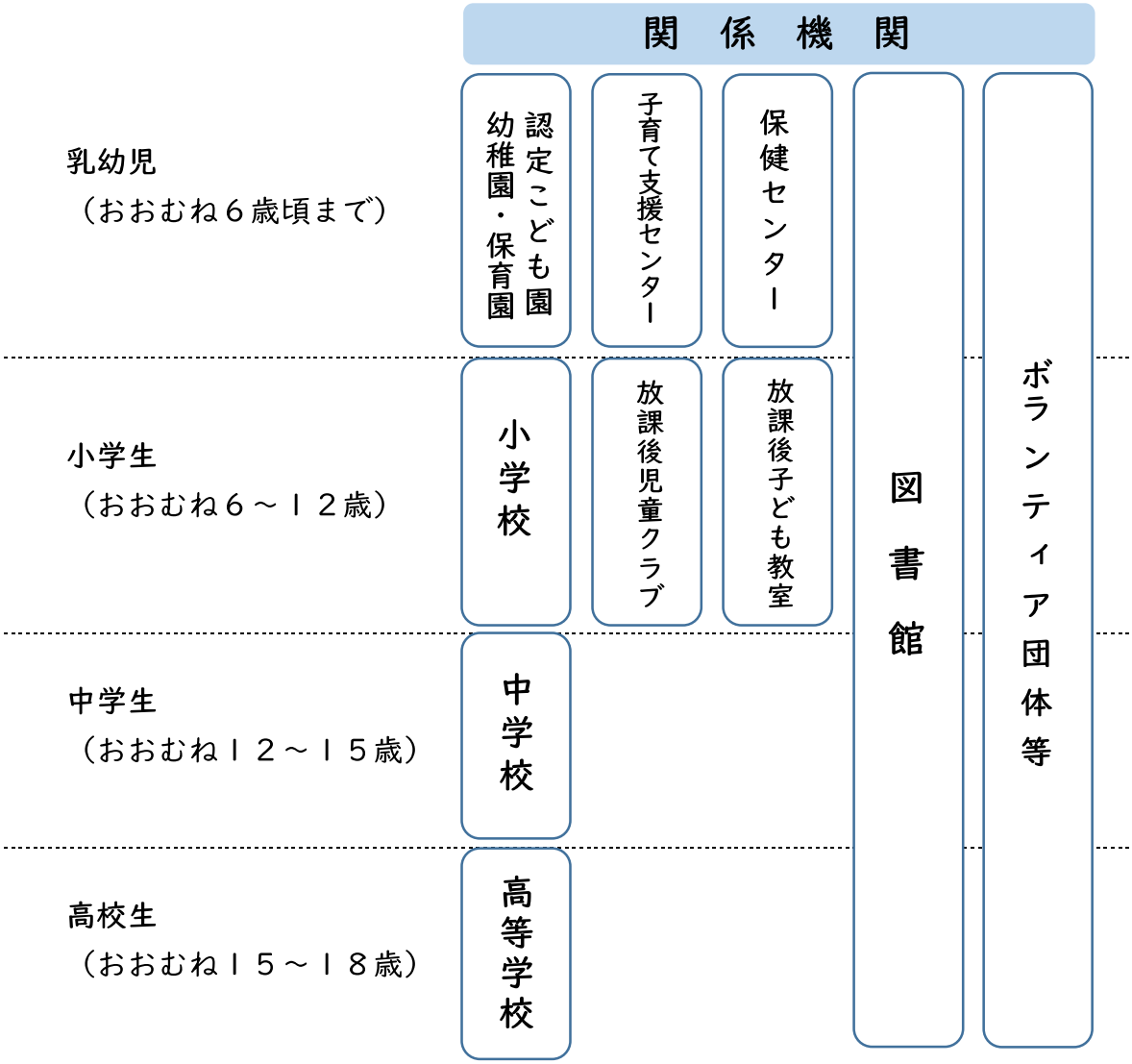
本計画は、おおむね１８歳以下の子どもを対象とします。

4　計画の期間

本計画は、令和９年度から令和 13 年度までを期間とする５年計画です。
なお、計画内容と実態に乖離が生じた場合には、適宜計画の見直しを行います。

5　関係機関

本計画は、子どもの発達段階に応じて、読書活動推進の働きかけを行うそれぞれの関係機関が連携しながら推進するものとします。



第2章　読書の現状と課題

Ⅰ　第２次計画（令和４年度～令和８年度）の目標達成度

第２次計画における数値目標（４項目）の達成状況は、次のとおりです。

〈数値目標１〉 本を読むことが「好き」又は「どちらかといえば好き」と答えた子どもの割合

（市立図書館調査「東松山市子どもの読書アンケート」より）

小学校2年生

令和3年度【第1次実績】	令和6年度【中間】	令和8年度【第2次最終】	目標値
91.3%	91.3% （当初比:±0%）	90.4% （当初比:△0.9%） （中間比:△0.9%）	95.0%

小学校5年生

令和3年度【第1次実績】	令和6年度【中間】	令和8年度【第2次最終】	目標値
84.3%	74.7% （当初比:△9.6%）	77.9% （当初比:△6.4%） （中間比:△3.2%）	88.0%

中学校2年生

令和3年度【第1次実績】	令和6年度【中間】	令和8年度【第2次最終】	目標値
79.4%	78.2% （当初比:△1.2%）	72.8% （当初比:△6.6%） （中間比:△5.4%）	83.0%

計画期間の中間にあたる令和６年度に実施したアンケートでは、本を読むことが「（どちらかといえば）好き」と答えた割合が小学校２年生は第１次の最終と変わらず、５年生は第１次の最終より９．６%、中学校２年生は１．２%減少しました。令和８年度では、当初より、小学校２年生は０．９%、５年生は６．４%、中学校２年生は６．６%減少しました。いずれの学年も、目標値には至らなかったことから、子どもたちへの働き掛けが十分ではなかったものと考えられます。

〈数値目標２〉　１か月間の読書冊数が０冊の子どもの割合

（市立図書館調査「東松山市子どもの読書アンケート」より）

小学校2年生

令和3年度【第1次実績】	令和6年度【中間】	令和8年度【第2次最終】	目標値
1.0%	3.2% （当初比:＋2.2%）	5.0% （当初比:＋4.0%） （中間比:＋1.8%）	1.0%以下

小学校5年生

令和3年度【第1次実績】	令和6年度【中間】	令和8年度【第2次最終】	目標値
6.0%	18.3% （当初比:＋12.3%）	8.6% （当初比:＋2.6%） （中間比:△9.7%）	3.0%以下

中学校2年生

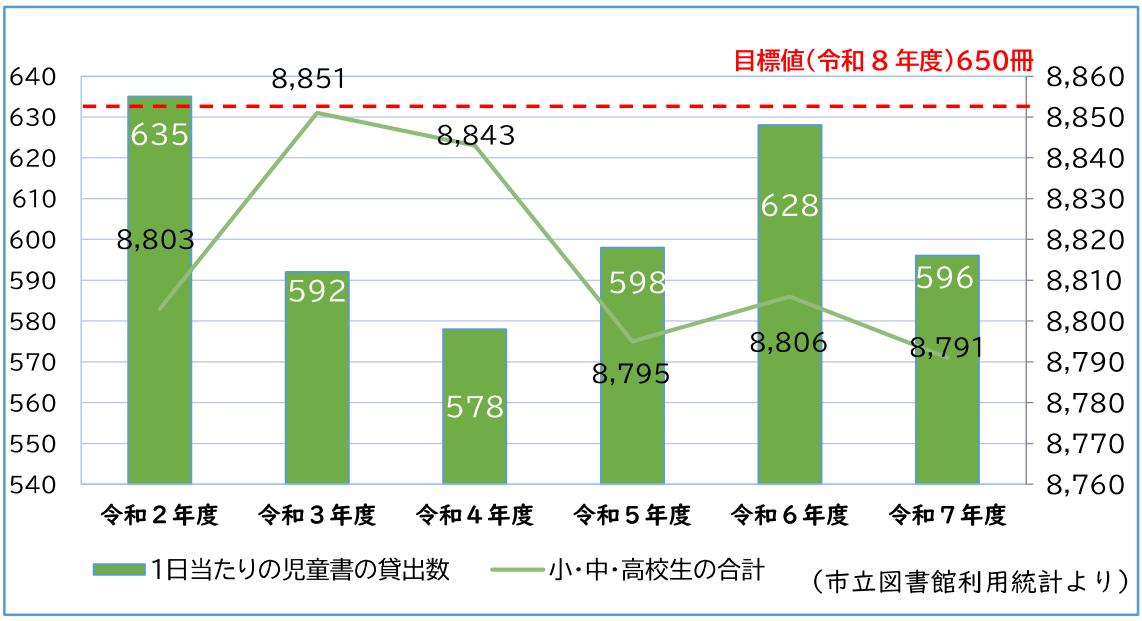
令和3年度【第1次実績】	令和6年度【中間】	令和8年度【第2次最終】	目標値
6.3%	10.5% （当初比:＋4.2%）	8.4% （当初比:＋2.1%） （中間比:△2.1%）	5.0%以下

小学校２年生については、令和３年度から令和６年度にかけて２．２%増加し、さらに、令和６年度から令和８年度にかけて１．８%増加し、目標値には至りませんでした。

小学校５年生については、令和３年度から令和６年度にかけて１２．３%増加し、令和６年度から令和８年度にかけて９．７%減少しましたが、目標値に至らなかったことから、小学校の低学年から高学年にかけての読書離れに歯止めをかける取組が十分ではなかったものと考えられます。

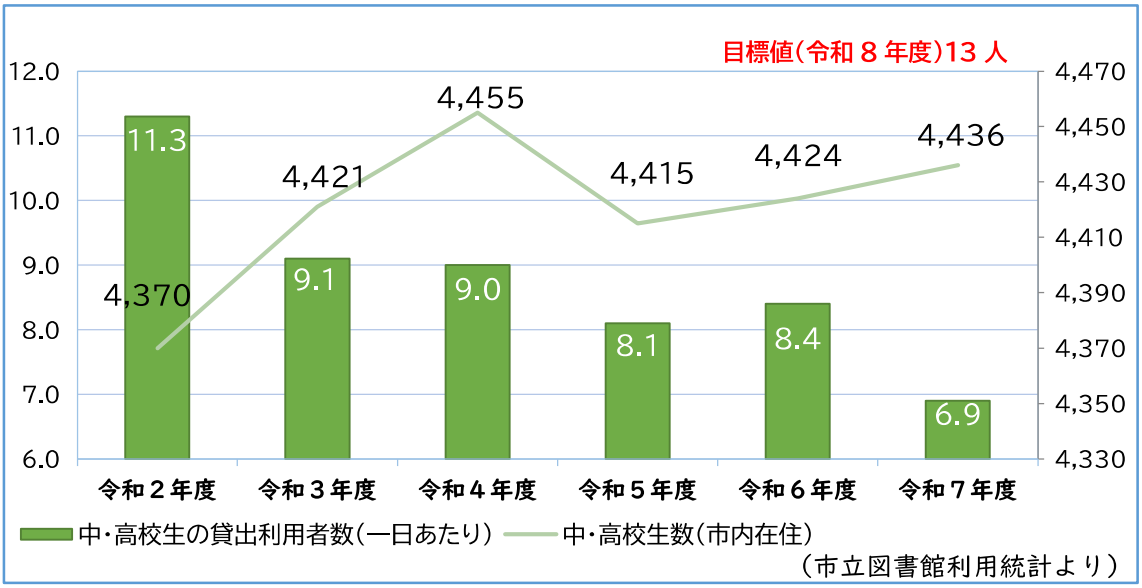
中学校２年生については、令和３年度から令和６年度にかけて４．２%増加し、令和６年度から令和８年度にかけて２．１%減少しましたが、目標値には至りませんでした。

〈数値目標３〉図書館での児童書の貸出冊数（１日あたり）



令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため臨時休館等を実施した影響もあり大きく減少しましたが、その後も大きな回復には至らず、目標達成には至りませんでした。

〈数値目標４〉図書館での中・高校生の貸出利用者数（１日あたり）



令和２年３月から５月までの間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館等を実施した影響もあり、低い数値となりました。その後も大きな回復には至らず、目標達成には至りませんでした。

２　第２次計画の成果と課題

子どもの読書活動の推移と現状を把握するため、令和６年に中間調査として小学校２年生及び５年生、中学２年生、令和８年に最終調査として同学年の児童・生徒にアンケートを実施しました。さらに令和８年には、幼稚園児・保育園児・認定こども園児の保護者と小学校２年生・５年生の保護者、高校２年生にアンケートを実施しました。（アンケート回答者数：小学２年生：６２１人、小学５年生：６６２人、中学２年生：６３２人、高校２年生８５６人、幼稚園児保護者：２４３人、保育園児保護者：４８３人、認定こども園児保護者：１８７人、小学２年生児保護者：３５６人、小学５年生児保護者：３７３人）そのアンケート結果から見える各施設・機関の取組における第２次計画の成果と、第３次計画に向けた課題についてまとめます。

（１）　家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

ア　乳幼児を対象とした取組

幼稚園・保育園・認定こども園や、保健センター、子育て支援センターなど乳幼児に係る関係機関・施設と図書館では、あらゆる機会を活用して、乳幼児を対象とした読書に親しむ取組を推進しました。

〈成果〉

・保健センターでは、乳児健診時のブックスタート（全ての赤ちゃんに絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする事業）、３歳児健診時のセカンドブック（市立・高坂図書館で絵本と引き換えのできるチケットを配布）を行いました。また、５歳児検診時には、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行いました。
・子育て支援センターでは、地域のボランティアによる絵本の読み聞かせと保護者向けに絵本講座を開催しました。
・幼稚園・保育園・認定こども園では、読み聞かせを行うほか、「園児が自由に本を手に取って読む時間の確保」「家庭への本の貸し出し」「保護者による読み聞かせ」など園児が読書に興味を持つ工夫を園ごとに行っています。また、保護者に

対する啓発を園だよりや保護者会、参観日等様々な機会を利用して行いました。

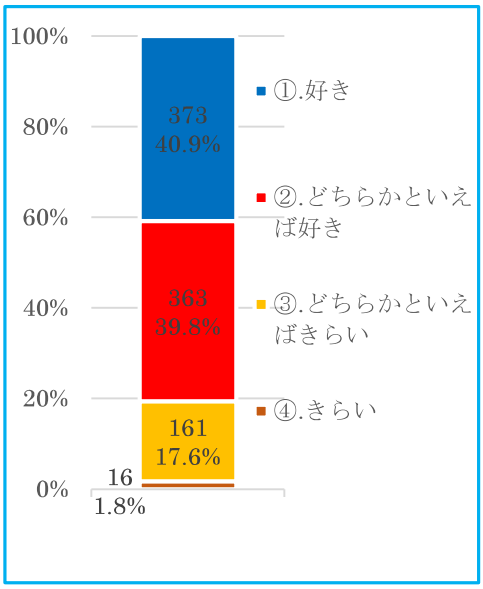
・図書館では、大型絵本や紙芝居など幼児向け資料の充実を図るほか、おはなし会や人形劇、工作教室の開催など乳幼児が本に触れる機会を創出しました。

・図書館では、幼稚園・保育園・認定こども園に団体貸出を行うほか、希望のあった幼稚園、保育園の図書館見学を受け入れました。

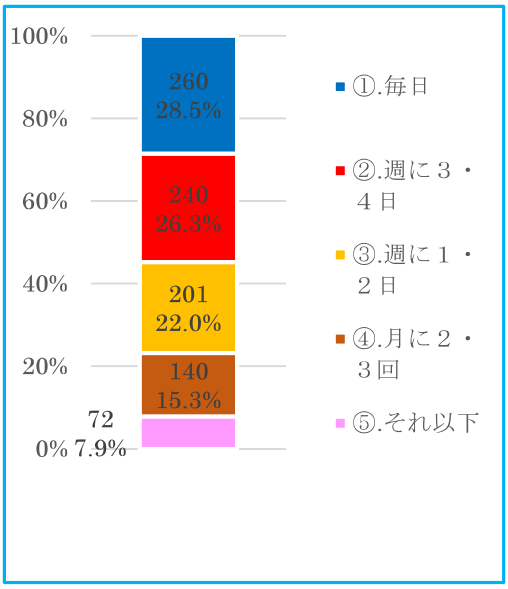
・図書館では、保護者向けに「子育て支援コーナー」の充実を図るほか、年齢に応じた絵本リストを配布しました。また、保護者の図書館利用促進のため、託児サービスを行いました。

【就学前保護者】

【読書に対する意識（好き・きらい）】



【読み聞かせの頻度】



<課題>

・保護者の８割が、本が好き、どちらかと言えば好きという結果で、読書に親しむ傾向が比較的高いことが分かりましたが、自分で本を読む時間はあまりないようです。そんな中でも、子どもには本を購入し、読み聞かせを行い、読書の重要性を認知しています。現代の社会情勢の中で忙しくなっている保護者に対し、子育て世代に係る各機関が連携しながら、情報提供など、支援をしていくことが必要です。

・幼児の図書館の利用については、保護者と幼稚園・保育園・認定こども園から図書館が遠い、図書館に行きたいが交通手段がないという物理的な困難さと、図書館の施設としての問題（子どもが騒いで迷惑をかけてしまう、駐車場が使用しにくい等）が提示されています。

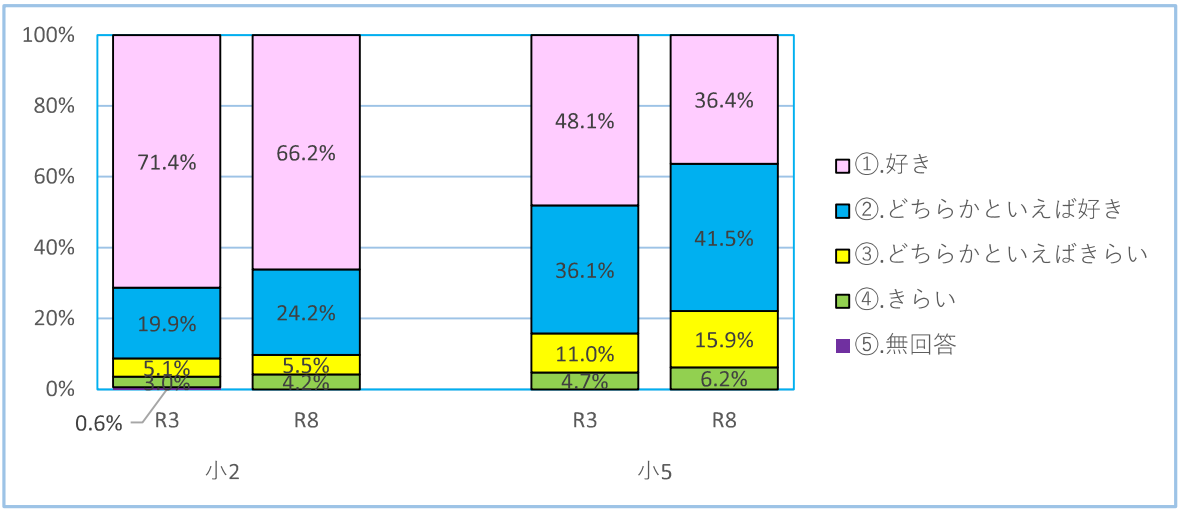
イ　小学生を対象とした取組

学校では学校教員だけでなく、学校司書や保護者、地域のボランティアが学校図書館を支え、図書館は学校との連携を深めることで、小学生の読書活動の推進に取り組みました。

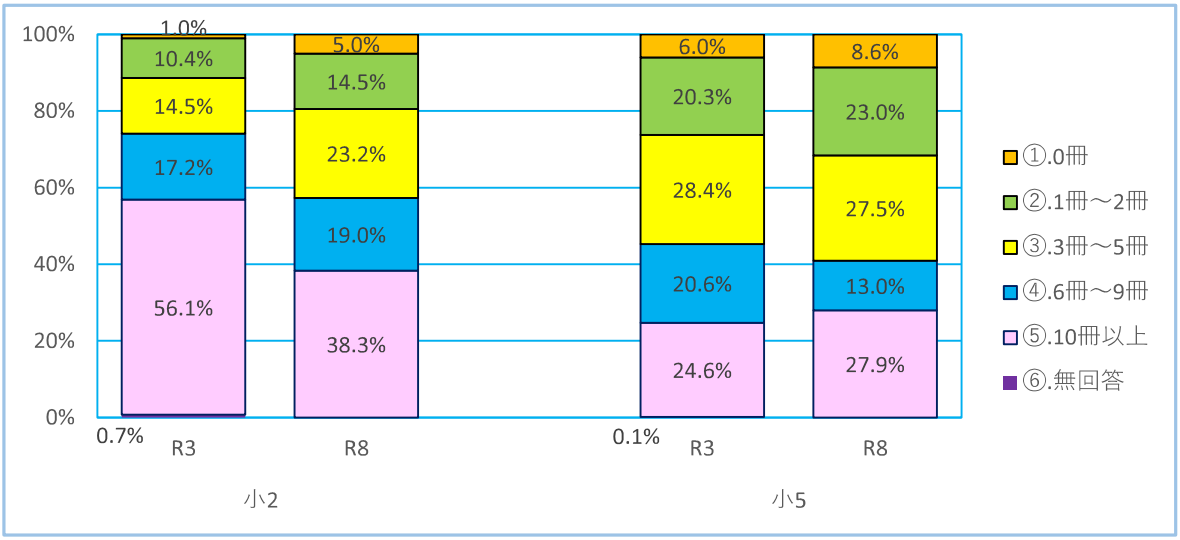
〈成果〉

・全ての小学校で「学校図書館図書標準」（平成５年３月に国が定めた整備すべき蔵書数の基準）を上回る蔵書数となっており、「おすすめ図書コーナー」を設置しています。
・季節に合わせたイベントの実施、図書室以外の場所に図書の掲示コーナーを設置し情報を発信、年間多読賞の表彰、スタンプラリーやくじ引きやビンゴ、クラス内でのビブリオバトル、図書委員からのおすすめ本の紹介、低学年への読み聞かせなど、児童が読書に興味を持つ工夫を小学校ごとに行いました。
・小学校では、学校司書による図書室業務、保護者や地域のボランティア、学校応援団による読み聞かせや本の修繕など、学校教員以外の協力も得られました。
・放課後児童クラブ（公立７・民間１６）の６割、放課後子ども教室（１１）の全てが団体貸出の利用団体として登録しています。
・図書館では、小学生向けおすすめ本ブックリスト「もう、よんだかな？」（低・中・高学年用）を１・３・５学年の児童に、読了した本を１００冊分まで記入できる「読書通帳」を全ての児童に配布しました。
・図書館では、朝の読書活動（以下　朝読）用図書セットを全ての小学校へ配送しました。
・図書館では、小学生向けのかがくあそび、工作教室など、図書館への来館を促す講座を開催しました。
・図書館では、小学２年生を対象として図書館見学を受け入れました。令和７年度においては、希望により図書館職員が学校を訪問する図書館案内も実施したため、市内全小学２年生には図書館を紹介することができました。また、出前授業として、希望する学校に対して、小学３年生を対象にしたブックトーク、小学５年生を対象としたビブリオバトルデモを実施しました。学校応援団向けには、読み聞かせ講座、装備・修理講座を実施しました。

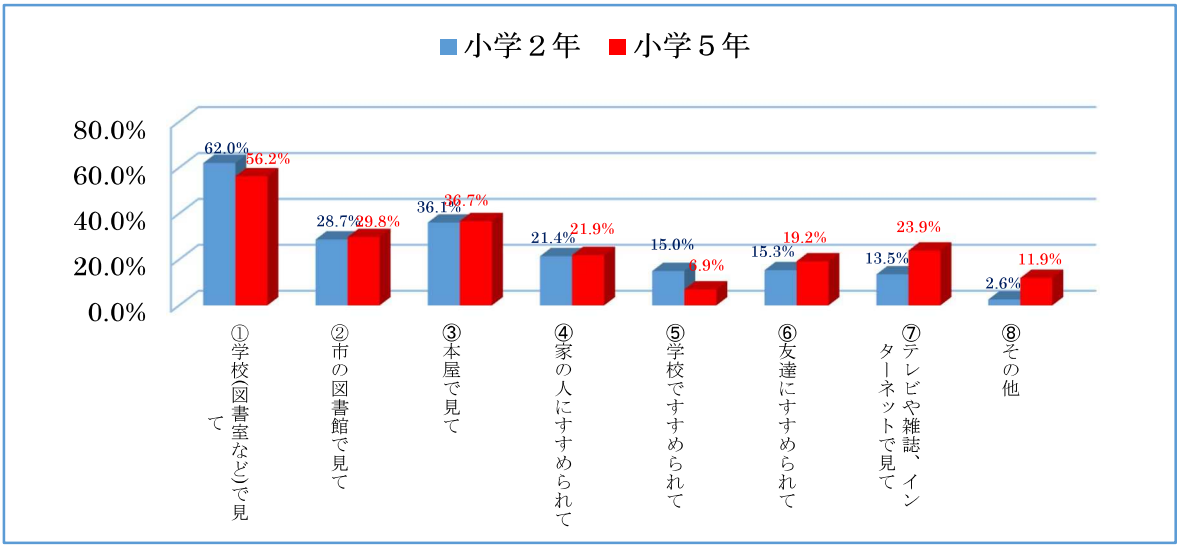
【読書に対する意識（好き・きらい)】児童



【1か月間に読んだ本の冊数】児童



【本の選び方】児童



〈課題〉

・本が好き、どちらかと言えば好きの割合が、２年生で０．９％、５年生で６．３％減少しています。また、小学生の本の選び方は、学校で選ぶことが多いという結果が出ています。小学校で楽しい本に出会えることが重要だと思われます。
・不読率が２年生で４％、５年生で２．６％増えています。全ての小学校で実施されていた朝読の時間が、授業時間確保のために廃止になった小学校があり、その影響があるものと考えられます。
・放課後児童クラブと放課後子ども教室が団体貸出の利用団体として登録していますが、実際に本の貸出しはありませんでした。子どもが本に触れる時間が少しでも多くなるよう、利用を促すことが課題です。

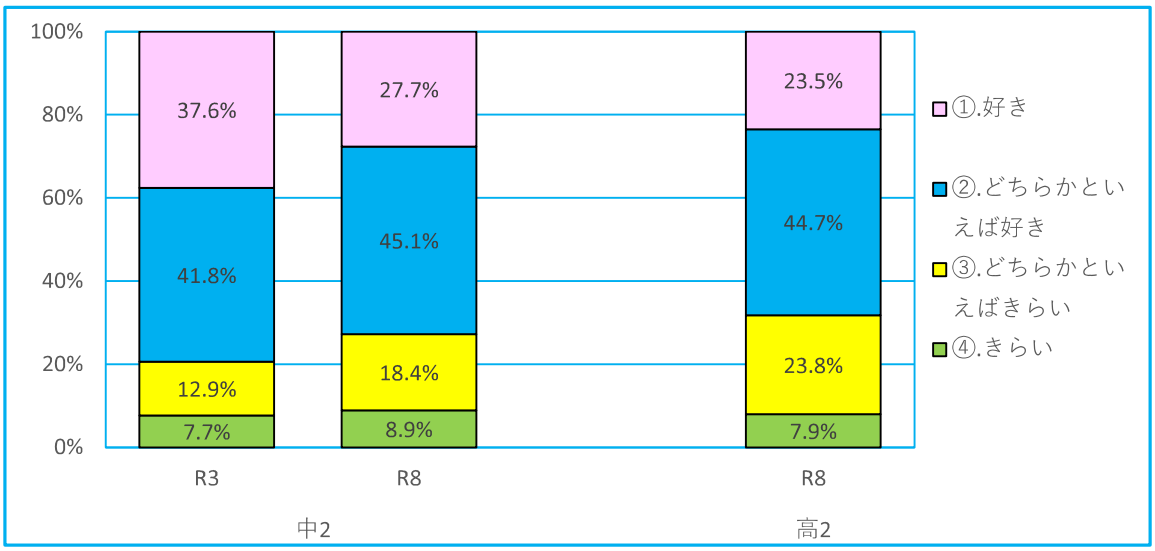
ウ　中学生・高校生を対象とした取組

中学・高校では生徒が利用しやすい環境整備が進められました。図書館ではこの年代の生徒に対する図書の充実を図るとともに、イベントを実施しました。

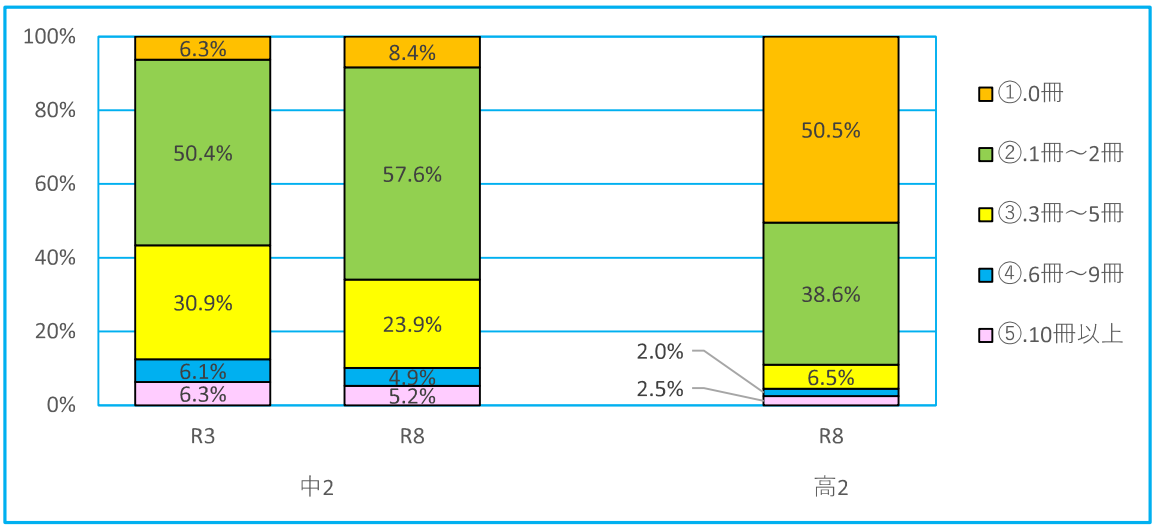
〈成果〉

・公立中学校のほとんどが「学校図書館図書標準」（平成５年３月に国が定めた整備すべき蔵書数の基準）を上回る蔵書数となっており、「梶田隆章文庫」については、科学の図書を紹介するものとして公立中学校全校で配置しています。
・全ての公立中学校で朝読を行い、読書時間を確保しました。
・高校では、学校司書による基本的な図書館運営により、生徒が利用しやすい環境整備が進められています。
・中学・高校とも、読書大会や校内ビブリオバトル、図書の紹介やポップの作成、おすすめ図書コーナーの設置など、生徒が読書に親しむ工夫を学校ごとに行いました。
・図書館では、ティーンズコーナーを設置し、おすすめ本の展示などを行いました。「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本」で紹介された本を全て取り揃えて案内するなど、中・高校生向け図書の充実を図っています。また、ティーンズが興味を持ちそうな新刊本の帯を利用した案内板を、ティーンズの利用が多い３階読書室へ掲示しました。
・図書館では、市内高校生及び中学生の参加によるビブリオバトルを開催しました。

【読書に対する意識（好き・きらい）】生徒



【1か月間に読んだ本の冊数】生徒



〈課題〉

・読書が好き・どちらかといえば好きという中学生が、６．６％減少しています。小学生のアンケート結果も同様ですが、年齢が上がるにつれ下がり幅が大きいことが課題となります。

・ほぼ半数の高校生が１か月に１冊も本を読んでいません（５０．５％）。東松山市では今回初めて高校生のアンケートを実施したので、これまでとの比較はできませんが、全国学校図書館協議会の行った調査（５月１か月間に読んだ本が０冊を不読者とする）をみると、過去２０年間は５０％前後を推移しているので平均的と言えるかもしれません。高校生の不読率の上昇は、朝読など、学校で読書時間がある義務教育とは異なり、余暇時間の読書に限定されるためと考えられます。しかしながら、中学生の８．４％からの急増は課題です。

・中学生以上になると、読みたい本は、書店やテレビや雑誌、インターネットで見て選ぶようになります。学校図書館でも、メディア化された本の貸し出しが多いそうです。この年代には興味をひくきっかけが必要だと考えられます。

エ　読書活動に支援が必要な子どもたちへの取組

読書活動に支援が必要な子どもたちの読書活動を推進するために、図書館ではさまざまな取組を行いました。

〈成果〉

・図書館では、点字付き絵本やLLブックを随時、選定・収集しています。さらに、ボランティアが作成した布絵本の貸し出しを行いました。また、令和７年度から市立図書館、高坂図書館に「りんごの棚」（スウェーデン発祥の取組で障害や言語の壁などにより普通の本を読むのが難しい子どもたちに向け、誰もが読書を楽しめる工夫をした本を集めた特設コーナー）を設置しました。
・外国語で書かれた絵本を随時、選定・収集し、外国語で書かれた図書コーナーへ配架を行いました。また、多文化について学べる児童向け資料も適宜、選定・収集しました。電子図書館でも多言語対応の絵本の選定・収集しています。

〈課題〉

・利用促進を図るためのＰＲ活動を行う必要があります。

（２）　子どもの読書活動の啓発・普及

ア　「子どもの読書の日」を中心とした啓発

毎年４月２３日の「子どもの読書の日」と４月２３日～５月１２日の「子ども読書週間」の広報を行い、あわせてイベントを実施しました。

〈成果〉

・「子ども読書の日」（４月２３日）、「子ども読書週間」（４月２３日～５月１２日）について、市広報紙と「図書館だより」に関連記事を掲載し、周知を図りました。また、「子ども読書週間おはなし会」や「好きな本の登場人物の絵をかいてかざろう」など、子どもを対象としたイベントを実施しました。

〈課題〉

「子ども読書の日」、「子どもの読書週間」について、子どもの読書意欲を高める機会としていく必要があります。

イ　読書活動に係る情報収集・提供

子どもの読書活動推進のために図書館職員は積極的な情報収集を行いました。

〈成果〉

・子どもの読書活動推進のため、図書館職員は埼玉県立図書館などが開催する県内図書館職員向け児童サービス研修などに参加し、知識や技能の習得、情報の収集を行いました。
・図書館職員は、中学校、高等学校、特別支援学校の図書室を訪問し、生徒の読書活動の現状について情報収集を行いました。
・郷土の児童文学「天の園」（著者：打木村治）の普及のために、市立図書館・高坂図書館に「天の園」コーナーを設置しています。

〈課題〉

・インターネットの活用をさらに進めるなど、情報化に対応した啓発・広報の充実を図る必要があります。
・幼稚園・保育園・認定こども園、小学校、中学校などに、会議などを利用して図書館の情報を提供することが必要です。

第3章　基本方針・施策体系・進行管理

国が策定した「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（令和５年度～令和９年度）では、その基本的方針において、

「社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となっている時代において、子どもたちは、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることが求められる。

こうした子どもたちの資質・能力を育む上で、読解力や想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進は不可欠である。子どもたちは、読書を通じて、多くの知識を得たり、多様な文化への理解を深めたりすることができる。また、心に残る名作などの文学作品に加え、自然科学・社会科学関係の書籍や新聞、図鑑等の資料を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる探究心や真理を求める態度が培われる。

また、読むこと自体の楽しさ、それによる充実感、満足感を得ることが重要である。子どもの頃のそうした楽しかった体験は、生涯にわたる学習意欲やウェルビーイング（Well-being）につながるとともに、将来、その体験を子どもたちと共有していきたいという動機となり、世代を超えた読書活動の推進の循環が形成されることが期待される。」

としています。

また、国の計画等を踏まえて県が策定した「第五次埼玉県子供読書活動推進計画」（令和６年度～令和１０年度）では、「将来の予測が困難であり、多様化が進む社会の中で、子供たちには、自ら課題を発見し解決する力　を持つことや、他者を尊重し、多様な価値観を持つ人々と協働しながら、新たな価値を創造することが求められます。

読書は、子供たちの感性を磨き、想像力を豊かにするなど、人生をより深く生きる力を身に付けることや、読解力・表現力などを育むことに資するという観点からも、その重要性が高まっているとの指摘もあり、読書活動を推進する必要があります。これらを踏まえ、県内全ての子供たちが読書活動の恩恵を享受できるよう、本計画の目指す姿を、第四次計画を踏まえ「全ての子供たちに本との出会いを」と掲げます。」としています。

いずれの上位計画においても上記の方向性を踏まえた上で「**不読率の低減**」を最重点目標とし、

1　多様な子供たちの読書機会の確保
2　デジタル社会に対応した読書環境の整備
3　子供の視点に立った読書活動の推進
4　地域と連携した読書活動の拡大
の４つを不可欠としています。

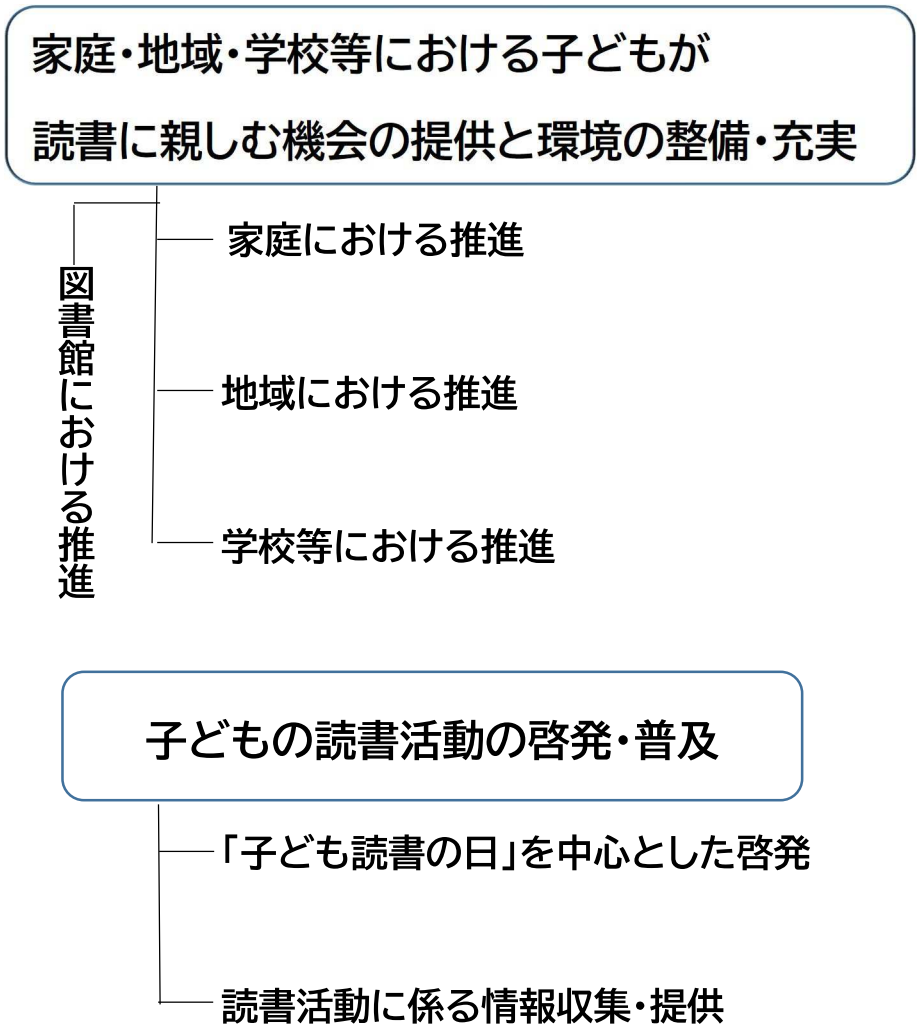
東松山市においても、小学生と中学生の不読率が上昇傾向にあり、学年が上がるにつれて、子どもたちが読書から遠ざかる傾向にあることに留意し、国及び県の計画を踏まえ、次の２つの基本方針を定めます。

1　基本方針

(1) 家庭・地域・学校等における子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

(2) 子どもの読書活動の啓発・普及

２　施策体系


家庭・地域・学校等における子どもが
読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実
図書館における推進
家庭における推進
地域における推進
学校等における推進
子どもの読書活動の啓発・普及
「子ども読書の日」を中心とした啓発
読書活動に係る情報収集・提供

3　進行管理

(1) 成果目標

計画の推進に当たり、次の２項目を指標として目標値を設定し、定期的に達成度を確認していきます。また、事業の実施状況についても定期的に確認していきます。

①　読書好きの子どもを増やします。

本を読むことが「好き」又は「どちらかといえば好き」と答えた子どもの割合

	現況値(令和8年度)		目標値(令和13年度)
小学校2年生	90.4%		91.0%
小学校5年生	77.9%		78.0%
中学校2年生	72.8%		73.0%
高校2年生	68.2%		69.0%

（資料：東松山市子どもの読書アンケート）

②　本を読まない子どもを減らします。

１か月間の読書冊数が０冊の子どもの割合

	現況値(令和8年度)		目標値(令和13年度)
小学校2年生	5.0%		5.0%以下
小学校5年生	8.6%		8.0%以下
中学校2年生	8.4%		8.0%以下
高校2年生	50.5%		50.0%以下

（資料：東松山市子どもの読書アンケート）

第4章　子どもの読書活動推進のための取組

Ⅰ　家庭・地域・学校等における子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

1　図書館における推進

（1）　子どもの発達段階に応じた取組

図書館は乳幼児期から青少年の発達段階に応じた読書環境を整え、子どもの成長や多様なニーズを支え、地域における子どもの読書活動の推進における中心的な役割を果たさなければなりません。単なる資料の貸し出しにとどまらず、子どもが読書の楽しさを知るための環境づくりや地域連携を推進していきます。

まず、子どもの発達段階に応じた蔵書の充実させること、そして各年代に向けたイベントを開催するなど、子どもが本や図書館に親しむ機会を創出します。

さらに、各子育て支援機関、幼稚園・保育園・認定こども園、学校、地域のボランティアなどとの連携を深め、子どもの読書活動を推進します。

①　本の選定・収集の充実

子どもの発達段階に応じた本の選定・収集に努めます。また、保護者に向けた子育てに関する図書の充実を図ります。

②　利用支援の充実

乳幼児期に対しては年齢に応じた絵本リストの配付、小学生に対して学年に応じたブックリストと読書通帳の配付、中・高生に向けて読書室におけるティーンズ向けの新刊紹介など、それぞれ発達段階に応じた利用の支援の充実を図ります。

③　行事の充実

乳幼児向けおはなし会、低学年向けおはなし会を定期開催します。乳幼児向けの人形劇や工作教室ではイベントを通じて家族で図書館に来る機会や楽しみを創出し、小学生向けの「かがくあそび」や工作教室などのイベントを通じて、読書に親しみ、好奇心を育む機会を提供します。

④　講座の開催

保護者やボランティア等子どもの読書活動に関わる人たちを対象とした読み聞かせ講座、本の装備・修理講座などを開催します。

⑤　団体貸し出しの推進

小学生に向けて児童がいろいろな本と出会う機会を増やすため、全ての小学校に図書館の本を定期配送します。また、各学校の授業を支援するため、学校指定のテーマや課題に応じた図書を随時貸し出します。

⑥　関係機関との連携

・ブックスタートにおいて読み聞かせを行うボランティアの調整や研修などを行います。

・幼稚園・保育園・認定こども園、小学校等の図書館訪問を積極的に受け入れます。園児に向けては読み聞かせや自由に本を選ぶことの楽しさを実感する機会を創出、小学生に向けては、図書館に興味・関心を持つよう工夫することで、その後の図書館利用を推進します。

・図書館職員が　小学校を訪問し、ブックトーク（１つのテーマに沿って複数の本を紹介するもの）やストーリーテリング（本を持たずに昔話などの物語を語り聞かせるもの）を交えて児童の好奇心を高め、図書館の利用を案内する出前授業を行います。

・ティーンズ向けイベントとして、中学校・高等学校に参加を呼びかけ、ビブリオバトルを開催し、読書に関心を持つ機会を創出します。

⑦　電子図書館の活用

比企１市６町の合同事業で開設した比企広域電子図書館「比企ｅライブラリ」の活用を図ります。また、学校連携により、児童生徒の読書活動の推進や、調べ学習への更なる支援につなげます。さらに、電子図書館の推進により、支援が必要な子どもたちへの利用を促進します。

（２）　読書活動に支援が必要な子どもたちへの対応

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の施行（平成２８年４月）により、障害者への合理的配慮の提供が義務付けられ、全ての 子どもたちが読書に親しめる環境づくりが求められています。くわえて、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」の施行（令和元年６月）により、図書館においては、視覚障害者等

が利用しやすい書籍等の充実や円滑な利用のための体制の整備が行われるように、必要な施策を講ずるものとしています。

また、日本語を母語としない子どもについても、読書活動が推進されるよう配慮します。

①　資料の充実

大活字図書（大きな文字で印刷された本）・点字図書等の利用しやすい書籍を充実させるなど、視覚に障害のある子どもなどの読書環境の整備を行います。

②　文化・多言語サービスへの取組

日本語を母語としない子どもたちの図書館利用が推進されるよう、外国語資料や多文化に配慮した資料の収集に努めます。

２　家庭における推進

家庭は子どもが基本的な生活習慣を身につける場であり、全ての教育の出発点であり、読書と初めて出会う場です。保護者による絵本の読み聞かせは、子どもの言語能力を向上させ、想像力や共感力を育成します。絵本を通じたコミュニケーションは、親子の愛着形成を強め、心の安定や集中力を高めます。また、保護者が子どもを図書館や書店に連れて行くという行動は、子どもの読書活動に大きな影響を及ぼします。このように、家庭は子どもの読書活動を決定づけている重要な役割を担っています。

①　読書を身近にする雰囲気づくりの推進

リビングや子ども部屋に本を置く、保護者が読書をする姿を見せる、一緒に図書館や書店に足を運ぶなど、子どもに読書を身近なものと認識させます。

②　読書を通じた親子のコミュニケーションの推進

乳幼児期には絵本や物語の読み聞かせを行い、学童期には読んだ本の感想を話し合うなど、読書を介在とした親子のコミュニケーションを共有します。

③　読書関連イベントへの参加の推進

図書館や子育て支援センターなどで開催される読み聞かせや、人形劇・工作教室など、子どもが読書の楽しさを味わえるイベントに参加します。

３　地域における推進

（１）　保健センター・子育て支援センター

乳幼児が読書に触れるためには、図書館や子育て関連支援施設・機関が連携して、親子で本に親しむ環境の提供が必要です。

①　保健センター

絵本を介して乳幼児と保護者が読書に親しむ機会を提供するため、乳児健診時のブックスタートを推進します。さらに３歳時検診では子どもの年齢や発達の段階に合わせたブックリストを配付します。また、５歳児検診時には、「5 歳児検診マニュアル」（日本小児科医会発行）で推奨されているとおり、絵本の読み聞かせを行います。保健センター・こども支援課・図書館と連携して取り組みます。

②　子育て支援センター

地域のボランティアと連携して、親子を対象に、絵本の読み聞かせを実施します。また、おすすめの絵本の紹介や子育てを豊かにするための絵本の活用などについて絵本講座を開催します。

（２）　放課後児童クラブ・放課後子ども教室

子どもが読書習慣を身に着けるためには、子どもたちが日常的に本と出会える環境を整え、家庭、地域、学校が連携しながら社会全体で読書習慣を育むことが大切です。

〇児童が放課後を過ごす放課後児童クラブ（学童保育）や放課後子ども教室では、図書館の団体貸出を活用するなど、読書環境を整備し、本に触れる機会を確保します。

４　学校等における推進

（１）　幼稚園・保育園・認定こども園

〇就学前の読書に関する特徴の傾向（おおむね６歳頃まで）

乳幼児期には，周りの大人から言葉を掛けてもらったり乳幼児なりの言葉を聞いてもらったりしながら言葉を次第に獲得するとともに，絵本や物語を読んでもらうこと等を通じて絵本や物語に興味を示すようになる。更に様々な体験を通じてイメージや言葉を豊かにしながら，絵本や物語の世界を楽しむようになる。

「子供の読書活動推進に関する有識者会議（文部科学省設置）論点まとめ」（令和４年１２月）より

幼稚園・保育園・認定こども園で行われる読書活動は、子どもの語彙力を高め、聞く力や集中力を高めます。また、家庭だけでは得られない集団の中の読書体験は、みんなでお話を共有する楽しさを味わえます。そして生涯にわたる読書習慣の基礎が形成されることになります。

幼稚園・保育園・認定こども園では、日常的な絵本の読み聞かせのほか、子どもの発達段階に応じた読書に出会えるように環境を整え、子どもが読書に親しむための機会を創出します。また、保育士や幼稚園教諭が読み聞かせや絵本選びのスキルアップに努めるとともに、保護者に対して読書の大切さについての働きかけを行います。

①　読み聞かせの推進

日常の園生活において、絵本や紙芝居などの読み聞かせを推進します。

②　園ごとに特色のある読書活動の推進

「園児が自由に本を手に取って読む時間の確保」「家庭への本の貸出し」「保護者による読み聞かせ」など、各園において独自の取組を推進します。また、研修会等への参加を通じて、職員が読み聞かせや絵本選びなどのスキルアップを図る機会の確保に努めます。

②　保護者への啓発

「園だより」や保護者会などを通じて、読書の大切さについて、保護者への啓発を行います。

（２）　小学校・中学校・高等学校

○小学生の読書に関する特徴の傾向（おおむね６歳から１２歳まで）

小学校低学年では，本の読み聞かせを聞くだけでなく，一人で本を読もうとするようになり，語彙の量が増え，文字で表された場面や情景をイメージするようになる。

中学年になると，最後まで本を読み通すことができる子供とそうでない子供の違いが現れ始める。読み通すことができる子供は，自分の考え方と比較して読むことができるようになるとともに，読む速度が上がり，多くの本を読むようになる。

高学年では，本の選択ができ始め，その良さを味わうことができるようになり，好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める一方で，この段階で発達がとどまったり，読書の幅が広がらなくなったりする者が出てくる場合がある。

○中学生の読書に関する特徴の傾向（おおむね１２歳から１５歳まで）

多読の傾向は減少し，共感したり感動したりできる本を選んで読むようになる。自己の将来について考え始めるようになり，読書を将来に役立てようとするようになる。

○高校生の読書に関する特徴の傾向（おおむね１５歳から１８歳まで）

読書の目的，資料の種類に応じて，適切に読むことができる水準に達し，知的興味に応じ，一層幅広く，多様な読書ができるようになる。

「子供の読書活動推進に関する有識者会議（文部科学省設置）論点まとめ」（令和４年１２月）より

学校は、子どもが読書を通じて言葉を学び、豊かな心を育てるための基礎を作る重要な場所です。授業や読書指導、学校図書館の計画的な利用などを通じて、児童・生徒の読書習慣の定着を支える役割を担っています。

小学校・中学校・高等学校等の各学校段階に応じた読書活動ができるように、司書教諭、学校図書館司書を中心として、学校図書館の蔵書の充実や環境整備を進めます。

低学年への読み聞かせや季節に合わせたイベントの開催、生徒どうしでおすすめ本を紹介しあうイベント、図書委員による活動など、各学校段階に応じた読書との関わり合いを通じて、子どもが主体的に読書活動を行えるような環境づくりを進めます。

第4章　子どもの読書活動推進のための取組

①　学校図書館の充実

児童・生徒が利用しやすい環境整備を進め、本と出会う機会を創出します。

・小・中学校では国が示した「学校図書館図書標準」に見合う蔵書数を維持するとともに、図書の更新や拡充を継続します。
・中学校では「梶田隆章」文庫の活用を継続します。
・高等学校では学校司書が中心となり、生徒が利用しやすい環境整備を進めます。

②　朝の読書活動の推進

小・中学校では日常の学校生活の中で児童・生徒が読書習慣を身に付けていけるよう、授業前の朝の時間帯などを活用した読書活動を推進します。

③　学校ごとの特色ある読書活動の推進

学級文庫の設置、「図書だより」の発行、図書委員会や学校応援団（ボランティア）の活動、ビブリオバトルの開催など、学校ごとの特色ある取組を推進します。

④　保護者への啓発

小・中学校では、「学校だより」やノーゲームデーなどを通じて、読書の大切さについて、保護者への啓発を行います。

Ⅱ　子どもの読書活動の普及・啓発

１　「子ども読書の日」を中心とした啓発

「子ども読書の日」（４月２３日）、「こどもの読書週間」（４月２３日～５月１２日）、及び「読書週間」（１０月２７日～１１月９日）に関しては、ポスター・チラシや協賛イベントなどで広く周知してきました。今後は、市ホームページや図書館ホームページ・ＳＮＳなどを活用し、情報発信を一層強化することで、子どもが本に親しみやすく、読書を日常に取り入れる機会を増やすことが重要です。

①　ホームページや市広報紙への掲載

「子ども読書の日」等のイベントに合わせ、自治体のホームページ、市広報紙、学校だより、図書館だよりなどを通じて、全世代に対し子どもの読書活動の重要性を啓発します。

②　協賛行事の実施

家庭・地域・学校等が連携し、子どもの読書に親しむ機会を創出する協賛行事を充実させます。

２　読書活動に係る情報収集・提供

子どもの読書活動に関しては、各施設でさまざまな取り組みが行われているものの、施設間の情報共有は限定的です。そこで、図書館を中心に情報を整理・集約し、子どもの読書活動を促進する支援情報の共有を推進することが求められます。

①　各種研修への参加

市立図書館の職員は、埼玉県図書館協会等が開催する研修会に参加し、本計画に定める取り組みを効果的に推進する知識・技能を習得します。

②　関係施設間の情報の共有

読書活動に関する新たな取組などの情報を図書館が収集し、関係施設間の共有を推進します。

③　読書活動に関する情報の提供

ホームページや市広報紙、市立図書館で発行している「図書館だより」、関係施設刊行物やＳＮＳ等を有効に活用し、子どもと保護者に読書活動に関する情報を提供します。

④　郷土の児童文学「天の園」などの普及

東松山市を舞台にした郷土児童文学「天の園」（著者：打木村治）を図書館内に設置したコーナーで紹介し、紙芝居・人形劇等の活動を行うボランティア団体と連携して普及を図ります。また、地域の昔話を通じて子どもたちの郷土への関心を喚起します。

第3次東松山市子ども読書活動推進計画(令和9年度～令和13年度)

令和　年　月策定
編集・発行　東松山市教育委員会(生涯学習課　市立図書館)
〒355-0015　東松山市本町2丁目11番20号
TEL　0493-22-0324
FAX　0493-22-0064